令和５年度

教　育　要　覧

下松市教育委員会

市　　章

昭和 15 年制定されたもので、松葉で下松の「下」と、
波静かな笠戸湾の波を表わし、丸く形どった円は、
和を表わしている。

下松市民憲章

（昭和 44 年 11 月 3 日制定）

わたくしたち　下松市民は
英知と友愛と勇気をもって

○　きまりを守り　明るいまちをつくる
○　花と緑を愛し　美しいまちをつくる
○　スポーツに親しみ　健やかなまちをつくる
○　生産に励み　豊かなまちをつくる
○　若い力を育て　伸びゆくまちをつくる

●市 の 木　　ヤマモモ（昭和 50 年 12 月 10 日決定）
●市民の花　　サルビア（昭和 47 年 11 月 3 日決定）

目　　次

Ⅰ　下松市の概況

１　市章・市制 …… 1
２　市長・副市長・市議会 …… 1
３　位置・広ぼう …… 1
４　面積 …… 1
５　人口 …… 1
６　地区別人口 …… 2
７　人口の推移 …… 2

Ⅱ　教育行財政

１　教育長及び委員 …… 3
２　教育委員会事務局・教育機関・関係部局 …… 3
３　下松市教育行政の基本方針 …… 4
４　令和５年度施策の概要（「令和５年度施政方針」の抜粋） …… 5
５　教育費 …… 8
６　下松市奨学金制度 …… 9

Ⅲ　学校教育

１　下松教育の基本目標 …… １０
２　めざす児童生徒像 …… １０
３　下松教育推進上の重点目標 …… １０
４　新型コロナウイルス感染症に関連した対応 …… １６
５　学校施設状況 …… １８
６　市立学校教職員・児童・生徒一覧 …… １９
７　年度別児童・生徒数 …… ２０
８　特別支援学級児童・生徒数 …… ２２
９　児童・生徒体位比較表 …… ２４
１０　下松市教育支援センター「希望の星ラウンジ」 …… ２５
１１　学校給食 …… ２６

Ⅳ　社会教育

１　社会教育分野別努力事項 ……２８
２　社会教育委員 ……２９
３　人権教育推進委員 ……３０
４　公民館の概要 ……３１
５　図書館の概要 ……３２
６　文化財保護 ……３３
７　文化財審議会委員 ……３４
８　下松市郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」の概要 ……３４

Ⅴ　社会体育

１　体育施設の概要 ……３５
２　スポーツ推進委員 ……３７

Ⅵ　下松市教育研究所

１　研究所の設置 ……３８
２　下松市教育研究構想 ……３８

Ⅶ　資料

１　沿革・教育年譜 ……４１
２　教育関係団体一覧 ……５２
３　放課後児童クラブ（児童の家） ……５７
４　私立幼稚園 ……５８
５　県立高等学校 ……５９
６　施設所在地及び連絡先 ……６０
７　学校位置図 ……６１
８　下松市教育大綱……６２

Ⅰ　下松市の概況

1　市章・市制

昭和１４年１１月３日に当時の都濃郡下松町、花岡村、久保村、末武南村を合併して市制を施行しました。

その後昭和２９年１１月１日に都濃郡米川村を、昭和３７年４月１日に都濃郡都濃町滝ノ口地区を編入合併して現在に至っています。

2　市長・副市長・市議会

令和５年４月１日現在

市長・副市長		市　議　会	
市　　長	國井益雄	議　　長	金藤哲夫
副市長	玉井哲郎	副議長	松尾一生
		福祉教育委員長	浅本輝明

3　位置・広ぼう

位置			広ぼう
方位	地名	極限経緯度	
東端	久保添谷	東経　131°　56′	東西　12.7 km
西端	古島	東経　131°　48′	
南端	笠戸島火振岬	北緯　33°　55′	南北　20.6 km
北端	米川清若	北緯　34°　06′	

4　面積

令和５年４月１日現在

８９．３４㎢

国土地理院

5　人口

令和５年３月31日現在

住民基本台帳

総　数５６，９３２人

男　２８，０４４人

女　２８，８８８人

世帯数２６，７７０世帯

6　地区別人口　　住民基本台帳　令和５年３月 31 日現在

地 区 名	人口						世 帯 数
	日本人			外国人			
	男	女	計	男	女	計	
下松地区	7,563	7,899	15,462	140	80	220	7,896
久保地区	4,189	4,572	8,761	44	15	59	3,967
花岡地区	7,984	8,312	16,296	60	49	109	7,345
米川地区	240	238	478	1	0	1	251
末武地区	7,252	7,265	14,517	131	89	220	6,776
笠戸島地区	354	365	719	86	4	90	535
計	**27,582**	**28,651**	**56,233**	**462**	**237**	**699**	**26,770**

7　人口の推移　　総務省統計局　国勢調査

年　次	人口			世 帯 数	人口密度（1㎢あたり）
	総　数	男	女		
大正　９年	23,344	11,895	11,449	5,204	265.5
大正 14 年	24,195	12,296	11,899	5,366	275.2
昭和　５年	26,581	13,526	13,055	5,756	302.3
昭和 10 年	30,341	15,753	14,588	6,303	345.1
昭和 15 年	35,247	18,892	16,355	7,286	400.9
昭和 20 年	40,810	20,530	20,280	9,169	464.2
昭和 25 年	42,228	21,141	21,087	9,315	480.3
昭和 30 年	43,397	21,421	21,976	9,654	493.6
昭和 35 年	44,711	22,174	22,537	10,469	506.8
昭和 40 年	47,401	23,691	23,710	12,170	535.7
昭和 45 年	49,627	24,584	25,043	13,695	560.4
昭和 50 年	55,825	27,801	28,024	16,136	619.9
昭和 55 年	54,803	26,821	27,982	16,931	607.4
昭和 60 年	54,445	26,232	28,213	17,362	603.3
平成　２年	53,030	25,517	27,513	17,889	593.8
平成　７年	53,471	25,623	27,848	19,132	598.7
平成 12 年	53,101	25,433	27,668	20,101	594.2
平成 17 年	53,509	25,711	27,798	21,127	598.8
平成 22 年	55,012	26,535	28,477	22,653	615.6
平成 27 年	55,812	27,252	28,560	23,757	624.6
令和　２年	55,887	27,405	28,482	24,718	625.4

※　各年１０月１日現在の数値。平成２年、平成１７年は、世帯数の総数に不詳を含む。

Ⅱ　教育行財政

1　教育長及び委員

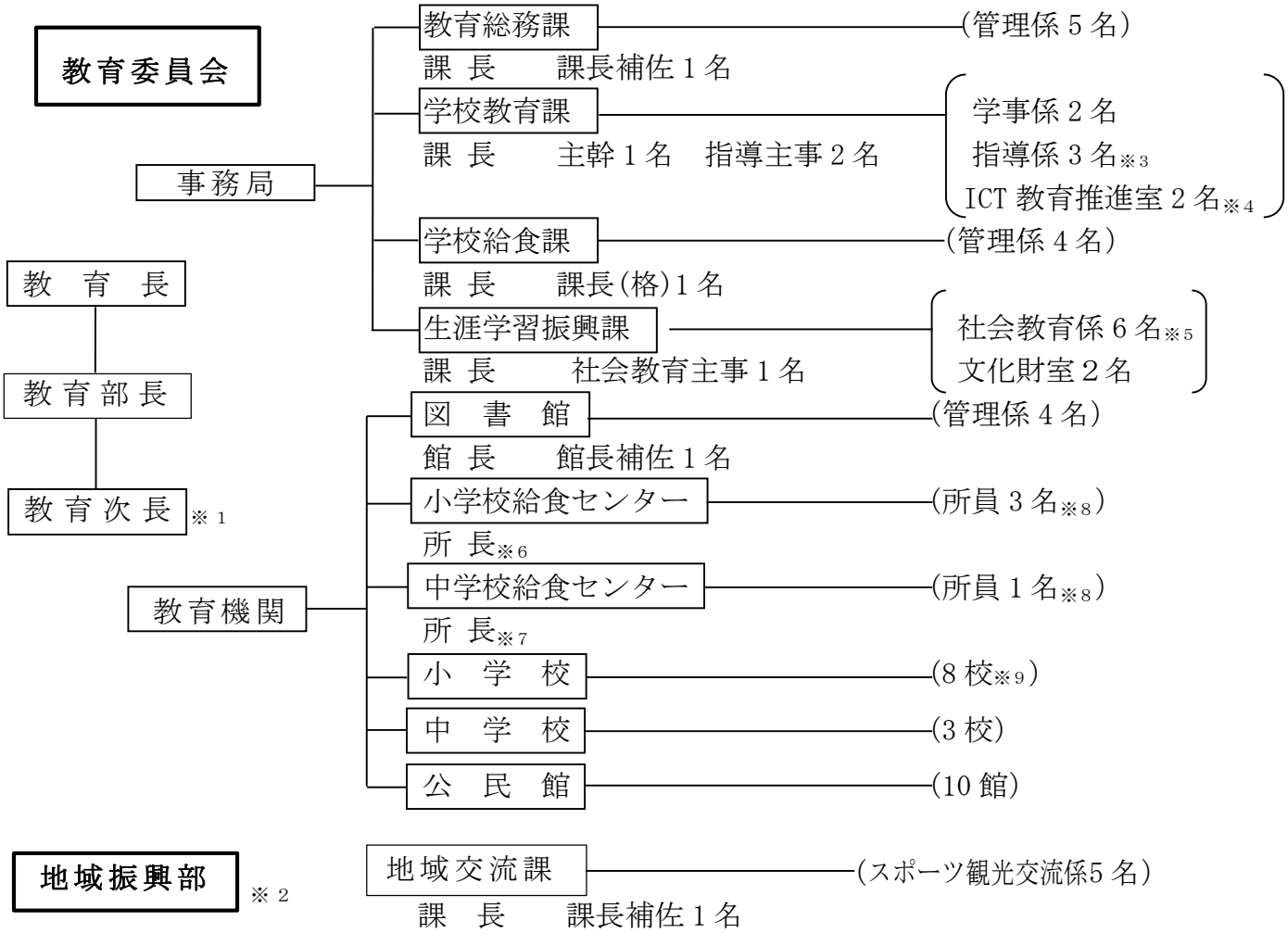
令和５年４月１日現在

役　職　名	氏　　名	任　　期
教　育　長	玉　川　良　雄	令和４年 10 月１日～令和７年９月 30 日
委　　員 （教育長職務代理者※1）	江　口　雄　二	令和３年 10 月１日～令和７年９月 30 日
委　　員	白　木　正　博	令和元年 10 月１日～令和５年９月 30 日
委　　員	林　　哲　人	令和２年 10 月１日～令和６年９月 30 日
委　　員	木佐谷　真理子	令和２年 10 月１日～令和６年９月 30 日

※1　令和２年 10 月１日就任

2　教育委員会事務局・教育機関・関係部局

令和５年４月１日現在（会計年度任用職員を除く）



※１　教育総務課長が兼務する。　※２　令和２年１１月１日からスポーツ関連事業については市長部局地域振興部地域交流課が所管する。
※３　学校教育課主幹及び指導主事で構成する。　※４　学校教育課主幹及び教育総務課職員が兼務する。
※５　生涯学習振興課社会教育係職員及び社会教育主事で構成する。文化財室２名は兼務。　※６　学校給食課長が兼務する。
※７　学校給食課長(格)が兼務する。
※８　学校給食課管理係職員が兼務する。　※９　うち米川小学校については令和２年４月１日から休校中。

３　令和５年度　下松市教育行政の基本方針

下松市の教育は、下松市教育大綱の基本目標である「多様な教育・学習の機会の充実による、生涯にわたり生き生きと学べるまちづくり」を基調として展開し、次に掲げる基本方針に基づき様々な施策を主体的かつ積極的に進めます。

（１）安全安心で快適な教育環境づくり

「学校施設長寿命化計画」に基づく施設改修や特別教室への空調設置を行うなど、学習環境の向上に努めます。

大型テレビ等の整備や Wi-Fi ルータの活用等により、学校におけるＩＣＴ環境の充実を図ります。

（２）心豊かに生きる力を育む学校づくり

「下松教育の指針」に基づき児童生徒一人ひとりが大切にされ、生き生きと学べる学校を目指します。

学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動やＩＣＴを活用した学習活動を充実させ、学力の向上に努めます。

（３）安全安心で美味しい学校給食づくり

地元食材を活用し、安全安心で美味しい給食の提供及び食育の推進に努めます。

中学校給食センターは、「学校施設長寿命化計画」に基づき、施設改修に着手するとともに、大型調理機器等を計画的に更新します。

（４）生涯学習支援による学びのまちづくり

社会教育・文化施設の環境整備を進めるとともに、青少年の健全育成、生涯学習・文化活動の機会の充実を図ります。

天王森古墳及び出土埴輪については、「文化財室」を新設し、関係機関や専門家と連携しながら、適切な保護と活用を進めます。

（５）市民に親しまれる知の拠点づくり

図書館本館、移動図書館、電子図書館それぞれの利点を生かし、市民の暮らしに溶け込む図書館を目指します。

郷土資料デジタルアーカイブや作成した歴史資料を活用した企画展示、学校との連携によるふるさと学習支援等により、地域の歴史と魅力を発信します。

４　令和５年度施策の概要（「令和５年度施政方針」教育委員会所管部分の抜粋）

第５章　教育文化

１　学校教育の充実

（１）小・中学校教育環境の充実

安全安心で快適な教育環境を確保するため、「学校施設長寿命化計画」に基づき、公集小学校第１校舎外壁改修、豊井小学校第１校舎改修、中村小学校本館屋上防水塗装などを行うとともに、花岡小学校特別教室棟の建設を行います。

東陽小学校、久保中学校、末武中学校の屋内運動場にＬＥＤ照明を整備します。

久保小学校と公集小学校の特別教室に空調を設置します。

学校給食は、地元食材の活用により、安全安心でおいしい給食の提供及び食育の推進に努めます。

中学校給食センターは、「学校施設長寿命化計画」に基づき、施設改修に着手するとともに、大型調理機器等を計画的に更新します。

（２）　小・中学校教育の推進

次世代を担う児童生徒の「心豊かに生きる力」の育成に向けて、コミュニティ・スクールの取組を充実させ、社会総がかりで児童生徒の学びや育ちを支援する教育環境づくりに努めます。

ＧＩＧＡスクール構想の実現に向けて、ＩＣＴ担当教育指導員を配置し、教員研修の更なる充実に努めるとともに、タブレット端末等のＩＣＴ機器の効果的な活用や情報モラル教育を一層推進します。

障害のある児童生徒等一人ひとりの教育的ニーズに対応するため、教員補助員を増員し、特別支援教育の充実を図ります。

不登校対策として、「希望の星ラウンジ」のサテライトルームを下松中央・久保・末武公民館に設置します。教育指導員を増員して派遣し、不登校児童生徒への支援の充実を図ります。

教員業務支援員を全小中学校に、中学校に部活動指導員を配置し、学校における働き方改革を推進します。

中学校部活動の地域移行は、国や県が示す方針等を踏まえ、関係団体と連携しながら、本市における望ましいスポーツ、文化活動の体制整備について協議し、検討を進めます。

2　社会教育の充実

（1）青少年の健全育成

放課後子ども教室や家庭教育支援事業、青少年相談事業、地域未来塾などの取組により、健全な青少年の育成や安心して子育てができる教育環境づくりを地域ぐるみで推進します。

図書館は、学校との連携による図書館教育やふるさと学習支援を行うとともに、読書通帳の普及に努めるなど、子どもの読書活動推進を図ります。

（2）生涯学習環境の充実

公民館は、「公民館施設整備計画」及び「社会教育施設等長寿命化計画」に基づき、末武公民館の建替えに向けた協議を進めます。

図書館は、図書館本館、移動図書館、電子図書館それぞれの利点を活かして、市民に親しまれる情報拠点を目指します。

郷土資料デジタルアーカイブやこれまでに作成したリーフレット等の歴史資料の活用により、地域の歴史と魅力を発信します。

（3）生涯学習の推進

公民館での各種団体やサークルの学習活動・地域活動を支援します。

公民館講座や出前講座の実施、生涯学習情報コーナーの活用推進のほか、学術機関との協働により、生涯学習機会の拡充を図ります。

「笑顔の写真コンテスト」、「くだまつ親子の日フェスタ」及び「二十歳（はたち）のつどい」を開催します。

市民憲章推進協議会を中心に、様々な機会をとらえ、幅広い世代への周知を図ります。

3　文化振興と文化財保護

（1）文化活動の振興

市民美術展覧会等の文化行事の開催や、文化団体への支援により、市民による文化活動の活性化を図ります。

スターピアくだまつは、老朽化した設備を更新し、文化・生涯学習振興の拠点として一層の充実を図ります。

（2）歴史・伝統の保護と活用

天王森古墳を中心とした埋蔵文化財の調査、研究を進めるため、組織体制の充実を

図るとともに、新たに外部の専門家をアドバイザーに迎え、今後の活用等について検討を進めます。

関係機関と連携して出土埴輪の復元や展示を進めるとともに、「ふるさと下松」の魅力を広く情報発信し、ふるさとへの愛着やシビックプライドの醸成を図ります。

平成時代の記録冊子の発行に向けて、市史編さんの準備を進めます

第６章　市民協働

１　人権尊重の推進

（１）人権の尊重

一人一人の人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向け、関係諸団体と連携し、人権啓発、人権教育、人権相談を行います。

5　教育費

一般会計と教育費の推移

年度	一般会計歳出決算額（千円）		対前年比（%）		一般会計に占める割合（%）
	総　額	教育費	総　額	教育費	
H 6	17,796,086	2,084,756	82	150	11.7
7	18,769,955	1,738,944	105	83	9.3
8	17,651,460	1,423,184	94	82	8.1
9	18,148,727	1,486,174	103	104	8.2
10	20,160,446	1,515,986	111	102	7.5
11	19,287,247	1,422,358	96	94	7.4
12	17,812,292	2,224,734	92	156	12.5
13	18,053,143	1,786,513	101	80	9.9
14	17,993,636	2,285,926	100	128	12.7
15	17,816,769	2,094,152	99	92	11.8
16	20,527,768	1,809,382	115	86	8.8
17	18,572,650	1,664,952	90	92	9.0
18	17,812,903	1,640,780	96	99	9.2
19	19,964,203	1,387,404	112	85	6.9
20	18,141,577	1,759,451	91	127	9.7
21	18,763,318	1,699,187	103	97	9.1
22	19,729,103	2,260,871	105	133	11.5
23	19,907,294	3,177,285	101	141	16.0
24	17,937,198	1,888,143	90	59	10.5
25	18,405,708	1,934,993	103	102	10.5
26	20,607,999	2,915,516	112	151	14.1
27	21,360,850	3,588,167	104	123	16.8
28	21,343,856	4,070,929	100	113	19.1
29	20,378,512	2,905,588	95	71	14.3
30	21,991,625	3,532,162	108	122	16.1
R1	24,112,815	4,244,807	110	120	17.6
R2	28,181,899	3,682,910	117	87	13.1
R3	24,528,603	3,362,127	87	91	13.7
R4	24,176,704	3,204,121	96	95	13.3
R5	22,500,000	2,956,111	93	92	13.1

※令和４年度は決算見込額、令和５年度は当初予算額

６　下松市奨学金制度

下松市では、下松市在住者の子弟で、人物及び学業が優秀でありながら、経済的理由により就学が困難な者に対し、学業に必要な資金の貸付け（無利子）を行っています。※財団法人下松市奨学会から平成 24 年 12 月 1 日に事業を、平成 25 年 3 月 1 日に財産を引き継いだものです。(財団法人下松市奨学会では、昭和 43 年度に事業開始)

○奨学金制度の概要　※貸付期間は、在学する学校の正規の修業年数が限度となります。

区分		貸付月額	貸付総額（最大）	返還月額
高等学校、中等教育学校（後期課程)、特別支援学校（高等部)、専修学校（高等課程）	国公立	15,000 円	※全日制（3 年）の場合 540,000 円	6,000 円
	私立	20,000 円	※全日制（3 年）の場合 720,000 円	6,000 円
高等専門学校（第 1 学年から第 3 学年まで）		15,000 円	900,000 円	6,000 円
高等専門学校（第 4 学年、第 5 学年及び専攻科）		35,000 円	※専攻科の場合 1,680,000 円	14,000 円
短期大学・大学 専修学校専門課程		35,000 円	※4 年制の場合 1,680,000 円	14,000 円

○財団法人下松市奨学会 ※貸付けを行った実人数（採用人数）及び総額(単位：人、円)

年度	高校		大学		合計	
	人数	総額	人数	総額	人数	総額
～H24	70	16,986,000	177	162,195,000	247	179,181,000

○下松市奨学金　　※令和 5 年度の貸付総額は予定額　　(単位：人、円)

年度	新規採用人数			貸付総額		
	高校	大学	計	高校	大学	計
～H30	6	35	41	2,340,000	48,300,000	50,640,000
R1	0	7	7	360,000	7,980,000	8,340,000
R2	0	2	2	360,000	6,300,000	6,660,000
R3	0	1	1	0	5,460,000	5,460,000
R4	0	1	1	0	2,940,000	2,940,000
R5	0	3	3	0	5,040,000	5,040,000
計	6	49	55	3,060,000	76,020,000	79,080,000

Ⅲ　学校教育

１　下松教育の基本目標

○　基本目標：「心豊かに生きる力を育む」

情報化や技術革新、グローバル化等による社会変化が予測を超えた速さで進展している中、学校教育には、児童生徒が変化に柔軟に対応し、創造性を発揮しながら未来社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していくことが求められています。

このことを踏まえ、本市学校教育においては、「心豊かに生きる力を育む」※1を基本目標に掲げ、児童生徒一人ひとりを大切にし、誰もが安心して生き生きと学べる教育を推進していきます。

※１　本市では「心豊かに生きる力」を、次の両面で捉えています。
「目的を定めた上で、知識技能を活用しながら、現実場面の様々な問題を解決する能力」
「思いやりの心や感謝する心をもち、他者と協調しながら、よりよい関係を構築する力」

２　めざす児童生徒像

「ふるさとに誇りをもち、たくましく未来を切り拓く、心豊かな下松っ子」

・郷土の自然や歴史、伝統、文化に学び、郷土への誇りと愛着心を育みます。
・生命を大切にする心や他者を思いやる心など豊かな人間性を育みます。
・多様な人々と協働しながら、主体的に学ぶ態度と確かな学力を育みます。

３　下松教育推進上の重点目標

（１）地域とともにある学校づくりの推進

①　地域連携教育の推進

ア　目標や課題の共有による主体的な取組の充実

学校・家庭・地域がめざす学校像や児童生徒に獲得させたい資質・能力を共有し、関係者が一体となって課題解決に取り組むとともに、学校評価を活用して、学校運営の改善と教育活動の充実に努めます。

イ　高等学校や関係団体等との連携の強化

高等学校や市長部局、関係団体等との連携を一層深め、地域ぐるみで子どもたちの豊かな成長を支えるためのコミュニティ・スクールの機能の充実を図ります。

② 地域の特色を生かしたふるさと教育の推進

ア　天王森古墳や出土埴輪等の埋蔵文化財や自然、歴史、伝統文化等を生かしたふるさと学習の充実

郷土の先人や古墳等の史跡、伝統芸能、文化等について学び、関心・理解を深めるとともに郷土下松への誇りと愛着心を育みます。

イ　地域に根ざし、地域の特色を生かした教育活動の充実

地域の人材や施設等、教育資源を積極的に活用して体験的な学習の充実を図るとともに、地域の人々とふれあう機会を設け、地域に根ざし、地域の特色を生かした教育活動の充実に努めます。

③　安全・安心な学校づくりの推進

ア　地域ぐるみの学校安全の取組

児童生徒の安心と安全を確保するため、学校安全３領域の総合的な取組を推進するとともに、通学路の安全点検、危険予測学習（ＫＹＴ）や防災・防犯訓練、危機管理マニュアルの見直し等に取り組みます。また、スクールガード活動など地域ぐるみで児童生徒の安全を見守る環境づくりを進めます。

イ　新型コロナウイルス等感染症対策の確実な実施

毎日の健康観察や手洗い・うがいの徹底等、国や県の各種通知等に基づき、基本的な感染症対策を確実に実施するとともに、安全・安心な学校づくりを推進します。

④　幼保・小及び小中の連携教育の推進

ア　校種間の授業参観や児童生徒の交流活動の推進

幼稚園・保育所、小学校、中学校間の授業参観や合同研修会等を実施し、教職員が互いに教育内容や指導方法を学び合うとともに、幼児・児童・生徒間の交流活動の拡充を図るなど、子どもの発達や学びの連続性を意識した教育の推進に努めます。

イ　中学校区の重点目標の設定と小・中学校の共通実践

中学校区ごとに、地域の特色や児童生徒の実態、保護者や地域住民等の願いを踏まえて、学習指導や生徒指導上の重点目標を設定し、小・中学校の教職員が共通実践することで、小中９年間を見通した継続性・一貫性のある教育を推進します。

（２）確かな学力と個性を育む教育の充実

①　自ら学び、考え、判断する力を育む教育の推進

ア　基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力の育成

観察・実験、レポート作成、論述など、知識・技能の活用を図る学習活動を工夫するとともに、横断的・総合的な課題について探求活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力等の育成に努めます。

イ　主体的に学習に取り組む態度の育成と学習習慣の確立

児童生徒が学習意欲を高め、学ぶ楽しさや達成感を実感するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みます。また、家庭学習の手引き等を活用し、家庭学習の習慣化に努めます。

ウ　各教科等における言語活動の充実

立場や根拠を明確にして議論することや実験レポートの作成などにより、学習の基盤としての各教科等における言語活動の充実を図ります。

エ　理数教育の質の向上

観察・実験等を重視した学習活動を進め、科学的な見方や考え方を育成するとともに、数や図形の性質を調べたり表現したりする活動を通して、数学的な思考力・表現力を育成するなど、理数教育の質の向上を図ります。また、体験活動や実社会・実生活と関連付けた指導の充実に努めます。

オ　個に応じたきめ細かな学習指導と評価の工夫

少人数指導や個別指導、習熟の程度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習等、指導方法や指導形態を工夫・改善し、きめ細かな指導の充実を図ります。また、指導目標に即した評価規準や評価方法を明確にし、指導と評価の一体化を図ることにより、一人ひとりの学力と学習意欲を高めます。

カ　「キラリくだまつ授業づくり」を活用した授業改善

児童生徒の学力の確実な定着と向上に向け、学校の課題を明確にし、組織的に授業改善に取り組むとともに、「キラリくだまつ授業づくり」を活用し、日々の授業実践を振り返りながら児童生徒の学習力を育てます。

キ　全国学力・学習状況調査等の結果の検証

全国学力・学習状況調査及び山口県学力定着状況確認問題等の結果分析・検証を通して、学習指導の成果と課題を把握するとともに、指導法の工夫・改善に努めます。また、教育内容や時間の適切な配分、実施状況に基づく改善などを通して、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立に努めます。

② 自立と社会参加を支える特別支援教育の推進

ア 一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談・支援体制の充実

校内委員会等の整備や個別の教育支援計画の作成等、障害のある児童生徒一人ひとりの実情を踏まえたきめ細かな相談・支援体制の構築に努めます。また、教育的ニーズに応じた適切な相談や支援の充実を図るため、医療・福祉等の関係機関との一層の連携を図ります。

イ 教職員の専門性の向上を図る研修の充実

障害のある児童生徒一人ひとりの状況等を的確に把握し、早期から適切な指導及び必要な支援を行うことができるよう、研修会や事例検討会を計画的に実施し、教職員の専門性の向上に努めます。

③ 社会の変化や時代の進展に対応した教育の推進

ア ＩＣＴの効果的活用による授業改善と情報モラルの向上

ＩＣＴ教育推進室を中心とした学校への支援体制により、ＩＣＴを効果的に活用した授業づくりや校内研修の充実を推進します。また、教員のニーズをとらえて研修を実施し、ＩＣＴ活用力や指導スキルの向上を図るとともに、家庭と連携し、ＩＣＴ教育・情報モラルに関する指導の充実を図り、情報社会の中で正しく判断して行動できる児童生徒の育成に努めます。

イ グローバル化に対応した教育及び国際教育の推進

グローバル化に対応した教育を推進するため、小学校教員の指導力や専門性を高める研修体制の充実を図るとともに、小中連携による英語教育を推進します。また、ＡＬＴを活用して、実践的コミュニケーション能力の育成や豊かな国際感覚を身に付けた児童生徒の育成に努めます。さらに、諸外国の伝統・文化を理解し、尊重する態度や国際協調・協力を実践する態度の育成に努めます。

（３）豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

① 豊かな人間性や社会性を培う教育の推進

ア 児童生徒の心に響く道徳教育の推進

「特別の教科　道徳」の趣旨や理念の実現に向け、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図ります。また、「考え、議論する道徳」の実現に向け、授業展開の工夫や魅力的な教材の開発に努めます。

イ 豊かな感性を育む読書活動の推進

全校で取り組む読書活動や学校図書館を活用した授業、ボランティアによる読み聞かせ活動等を通じて、児童生徒の読書への意欲や関心を高め、感性を育む読書活動の充実に取り組みます。また、学校司書を配置し、学校図書館の情報のセンターとして、機能の充実に努めます。

ウ 自らの未来を切り拓くキャリア教育の推進

小・中学校を通じて、系統的・計画的なキャリア教育を推進し、児童生徒一人ひとりが夢や目標をもち、社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力の育成に努めます。

エ　豊かな心を育むあいさつ運動や体験活動の充実

児童生徒の豊かな心を育み、明るく住みよい地域づくりを進めるため、学校・家庭・地域が一体となってあいさつ運動を全市的に推進します。また、宿泊体験や勤労体験、自然体験、福祉・ボランティア体験、文化や芸術に触れる体験等、多様な体験を重視した教育活動の充実を図ります。

オ　規範意識の醸成とコミュニケーション能力を育成する指導の充実

発達段階に応じ、集団生活や社会生活におけるきまりやルール、約束などの規範に基づいて、主体的に判断し行動しようとする規範意識の醸成に努めます。また、学校の様々な教育活動を通じて、互いが信頼し合える共感的な人間関係や豊かなコミュニケーション能力の育成を図ります。

カ　生徒指導上の諸課題への組織的な取組の充実・強化

いじめや不登校等の未然防止や早期発見・早期対応による問題解決を図るため、組織的な指導体制を構築し、学校・家庭・地域・関係機関の連携体制を強化します。また、児童生徒に寄り添う指導や支援の継続的な取組を通して、一人ひとりの自己指導能力の育成に努めます。

キ　一人ひとりを大切にする人権教育の推進

「山口県人権推進指針」や「山口県人権教育推進資料」を踏まえ、人権尊重の意識を高め、児童生徒一人ひとりを大切にする教育を組織的・計画的に推進するため、校内の推進体制の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携した取組を推進します。

②　体力の向上と健康の保持増進を図る健康教育の推進

ア　運動に親しみ、体力の向上をめざす学校体育の充実

児童生徒が自ら進んで運動やスポーツに親しみ、健康で活力ある生活を営むことができるよう、体育科や保健体育科において基礎的な身体能力の育成を図ります。また、特別活動や運動部活動なども含めた学校の教育活動全体を通じて、体力向上に向けた効果的な取組に努めます。

イ　学校・家庭・地域のつながりを意識した食育の推進

栄養教諭を中核として、学校や家庭、地域、関係機関と連携しながら、特色ある食育を推進し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせ、自ら健康管理ができる資質能力の育成に努めます。

ウ　安全で安心な学校給食の提供

栄養教諭と連携し、学校給食を活用した食に関する効果的な指導に努めるとともに、学校と給食センターが連携を図り、安全で安心な給食の提供に努めます。

エ　心身の健康の保持増進を図る健康教育の推進

生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、学校保健安全委員会や家庭・地域と連携し、生活リズムや食生活、運動等を含めた望ましい生活習慣の確立に向けた取組を推進します。また、児童生徒の発達段階に応じた性教育や薬物乱用防止教育、がん教育等を計画的・組織的に実施します。

オ　アレルギー疾患に対する取組の充実

食物アレルギーのある児童生徒が増加する中、アレルギー疾患について理解を深めるとともに、保護者や関係機関等と緊密に連携し、緊急時に全教職員が迅速・適切に対応することができるよう研修の充実に努めます。

（４）組織的な学校運営の充実

① 総合力の向上に向けた組織的な学校運営の推進

ア　機動的な校内組織の編成による組織力の向上

「チームとしての学校」の実現に向け、校長のリーダーシップのもと全教職員が一致協力し、マネジメント能力を発揮しながら、組織的な学校運営が行われるよう、校務分掌の再編など校内組織の改善を図ります。また、校内会議のスリム化を進め、校内における意思決定過程の明確化と迅速化を図り、学校全体の組織力の向上に努めます。

イ　マネジメントサイクルに基づく学校運営の改善

学校評価や教職員評価、授業評価等の実施にあたっては、全教職員がそれぞれの評価の意義と目的を共通理解し、組織的・計画的に行います。また、Ｐ（計画）・Ｄ（実践）・Ｃ（評価）・Ａ（改善）のマネジメントサイクルで学校運営の改善に努め、活力ある学校づくりを推進します。

ウ　キャリアステージに応じた教職員研修の充実

やまぐち総合教育支援センターや市教育委員会主催による研修会等を効果的に活用し、教職員のキャリアステージに応じた人材育成に計画的・継続的に取り組むとともに、ＯＪＴや自己啓発研修を通じて、自らの専門分野の伸長と課題の克服に努めます。

エ　管理職研修による学校経営能力の向上

教育法規に基づく適切な学校管理運営や危機管理、学校組織マネジメント、メンタルヘルスマネジメント、服務規律、人材育成、業務改善等に関する管理職研修の充実を図り、直面する教育課題に組織的に対応できる、管理職の総合的な経営能力の向上を図ります。

オ　下松市教育研究所と連携した研修の充実

今日的な教育課題に対応した調査研究活動の充実、教職員に求められる資質・能力や指導力の向上に向け、専門的な指導ができる教育指導員を配置し、下松市教育研究所の機能の強化を図ります。また、全国の先進地域への教育研

修生を派遣し、教育に対する強い情熱と高い志をもった魅力ある教職員の育成に努めます。

カ　学校事務の効率化・平準化・適正化に向けた共同実施の充実

事務の共同実施により、事務処理体制の整備や学校事務の効率化・平準化・適正化を図るとともに、教員がきめ細やかな学習指導や教育活動に専念できるための事務処理等の体制づくりに取り組み、教育環境の整備や学校の活性化を図ります。

キ　学校における働き方改革及び部活動の地域移行の推進

持続可能な学校指導・運営体制の構築に向けて、学校における業務の見直しや部活動の適切な運営等、働き方改革に関する総合的な取組を推進します。部活動の地域移行は、地域や関係団体の協力を得ながら、全市的なサポート体制の整備を進めていきます。また、統合型校務支援システムを導入し、教員の業務改善を図ります。

4　新型コロナウイルス感染症に関連した対応

（1）感染予防対策

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」（2023.5.8～文部科学省）」及び学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルス感染が確認された場合の対応ガイドライン（令和５年５月改定版）に基づき、以下の感染予防対策に努めます。

①　児童生徒等への指導
②　児童生徒等の健康観察
③　換気の確保
④　手洗い等手指衛生の指導
⑤　咳エチケットの指導
⑥　マスクの取扱い　　等

（2）心のケア・教育相談体制

新型コロナウイルス感染症等に関連して生じる児童生徒や保護者の様々な不安を解消するため、以下の取組を推進します。

①　生活困窮家庭の児童生徒や児童虐待のリスクが高い児童生徒への対応

ア　児童生徒に関する情報の収集と共有

イ　関係機関の連携による早期対応

② 児童生徒や保護者が相談しやすい校内体制づくり

ア 校内の教育相談体制の充実

イ スクールカウンセラー、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカーの派遣と連携

③ 教育委員会内の相談窓口の周知

ア ヤングテレホンくだまつ

イ 学校教育課相談窓口

5　学校施設状況

令和５年５月１日現在

	学校名	校地面積（㎡）	校舎面積（㎡）			屋体面積（㎡）	教室数		プール（m）			
			非木造	木造	計		普通	特別	コース	長	幅	水深
小学校	下松小	32,271	7,453	－	7,453	1,207	29	23	8 6	25 30	13.5 10.0	1.1 0.6
	久保小	13,659	3,932	7	3,939	725	11	14	6	25	14.0	1.2
	公集小	18,297	6,073	63	6,136	904	29	12	5	25	9.0	1.1
	花岡小	21,605	4,556	1,171	5,727	917	29	7	5 5	25 15	9.0 8.0	1.1 0.8
	豊井小	16,061	2,334	－	2,334	680	6	11	5	25	9.0	1.1
	中村小	11,707	3,492	－	3,492	798	15	8	5	25	9.0	1.1
	米川小	10,525	1,272	188	1,460	623	（令和２年度より休校）					
	東陽小	25,413	3,631	－	3,631	732	9	12	6	25	13.0	1.0
中学校	下松中	30,324	6,119	－	6,119	1,321	15	15	8	25	18.0	1.2
	久保中	24,606	3,906	－	3,906	1,130	9	19	5	25	11.0	1.2
	末武中	33,326	8,795	－	8,795	1,379	31	21	6	25	14.0	1.2

6　市立学校教職員・児童・生徒一覧

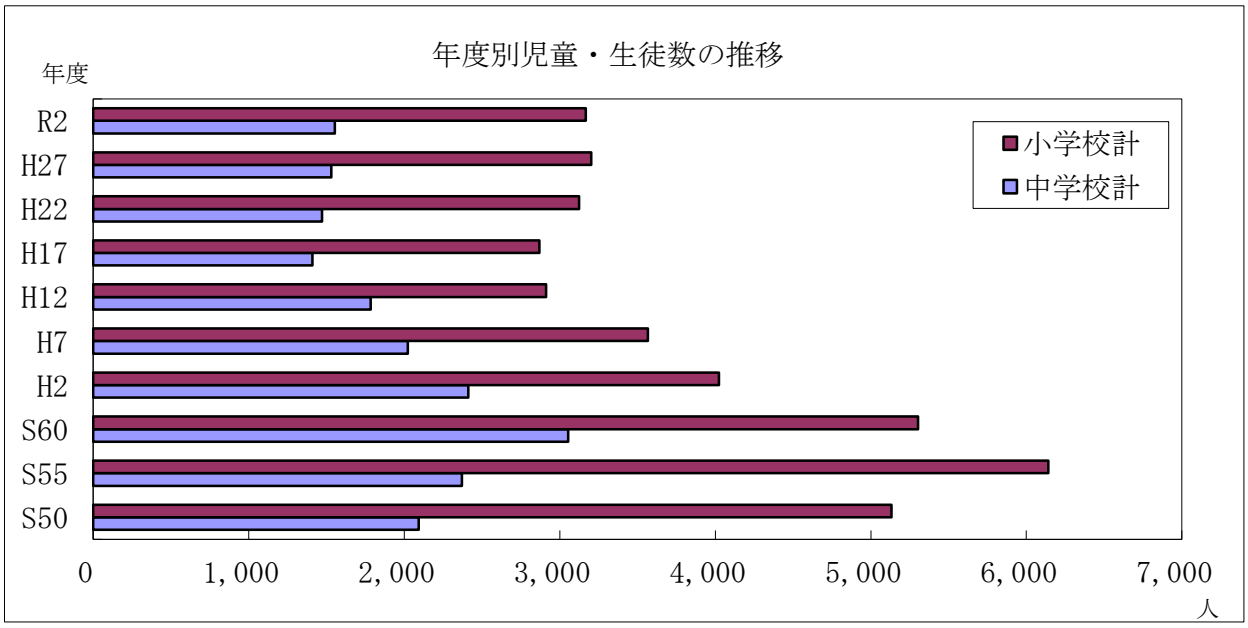
令和５年５月１日現在(会計年度任用職員を含む)

学校名	校長名	教頭名	児童・生徒数			学級数（実数）			教職員（県費）数						職員（市費）数		
			通常	特学	計	通常	特学	計	教諭等	栄教	養護	事務	学栄	計	技術	事務	計
下松小	西本　隆	郡司　徳子 桑原　泰樹	644	31	675	22	6	28	40	1	1	2	0	44	4	1	5
久保小	松本　敏訓	村田　綾子	228	8	236	9	2	11	14	0	1	1	0	16	0	1	1
公集小	世木　尚	水津　多加志 淺野間　智子	792	20	812	25	3	28	40	1	1	1	0	43	1	1	2
花岡小	堀川　勝祥	藤田　晶代	756	31	787	24	6	30	39	0	1	2	0	42	1	1	2
豊井小	江藤　弘康	富田　寛	50	2	52	4	2	6	8	0	1	1	0	10	0	0	0
中村小	中村　哲也	牧野　うつぎ	294	15	309	12	3	15	19	0	1	1	0	21	0	1	1
米川小	（令和２年度より休校）																
東陽小	山縣　佳洋	田川　建一	169	7	176	6	3	9	12	0	1	1	0	14	0	1	1
計			2,933	114	3,047	102	25	127	172	2	7	9	0	190	6	6	12
下松中	伊東　克典	立場　孝子	378	12	390	12	3	15	30	0	1	1	0	32	0	1	1
久保中	藤田　哲彦	中野　周子	224	6	230	7	2	9	16	0	1	1	0	18	0	1	1
末武中	濵﨑　美幸	中原　雅史 磯崎　仁	928	18	946	26	5	31	49	2	2	3	0	56	1	1	2
計			1,530	36	1,566	45	10	55	95	2	4	5	0	106	1	3	4
合　計			4,463	150	4,613	147	35	182	267	4	11	14	0	296	7	9	16

7　年度別児童・生徒数

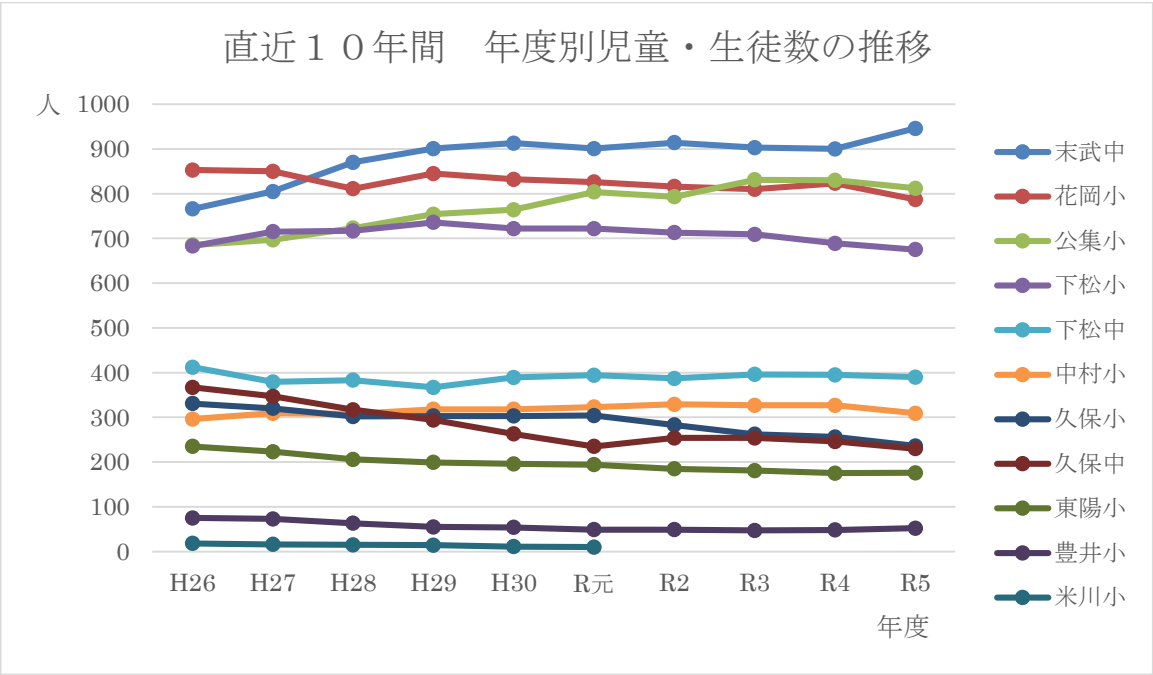
（Ｓ５０～５年ごと）　　５月１日現在

	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
下　松　小	1,951	2,170	1,810	1,228	922	673	685	697	715	713
久　保　小	544	675	710	355	305	244	299	408	320	283
公　集　小	803	1,017	862	666	574	493	473	570	697	793
花　岡　小	932	1,363	1,083	772	657	623	676	780	850	816
豊　井　小	280	220	225	168	108	73	69	68	73	49
笠　戸　小	61	52	41	37	24	14	7	17	廃校	廃校
深　浦　小	120	119	73	28	13	4	5	休校	廃校	廃校
江の浦小	119	108	82	18	14	10	23	15	廃校	廃校
中　村　小	252	350	354	249	268	248	262	270	309	329
米　川　小	71	67	63	55	48	40	17	9	16	休校
東　陽　小	－	－	－	447	633	490	353	290	223	185
小学校計	5,133	6,141	5,303	4,023	3,566	2,912	2,869	3,124	3,203	3,168
下　松　中	888	927	1,147	904	666	505	376	376	379	387
久　保　中	213	278	408	396	464	470	346	319	347	254
末　武　中	879	1,078	1,410	1,080	873	802	688	779	805	914
深　浦　中	113	88	89	33	20	7	休校	休校	廃校	廃校
中学校計	2,093	2,371	3,054	2,413	2,023	1,784	1,410	1,471	1,531	1,555
合　　計	7,226	8,512	8,357	6,436	5,589	4,696	4,279	4,595	4,734	4,723



（直近１０年間）　　５月１日現在

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
下　松　小	683	715	717	736	722	722	713	709	689	675
久　保　小	331	320	302	303	303	304	283	262	256	236
公　集　小	685	697	723	754	764	804	793	831	830	812
花　岡　小	853	850	811	845	832	826	816	810	823	787
豊　井　小	75	73	63	55	54	49	49	47	48	52
中　村　小	296	309	308	318	318	323	329	327	327	309
米　川　小	18	16	15	14	11	10	休校	休校	休校	休校
東　陽　小	235	223	206	199	196	194	185	181	175	176
小学校計	3, 176	3, 203	3, 145	3, 224	3, 200	3, 232	3, 168	3, 167	3, 148	3, 047
下　松　中	412	379	383	367	389	394	387	396	395	390
久　保　中	367	347	317	294	263	235	254	254	246	230
末　武　中	766	805	870	901	913	901	914	903	900	946
中学校計	1, 545	1, 531	1, 570	1, 562	1, 565	1, 530	1, 555	1, 553	1, 541	1, 566
合　　計	4, 721	4, 734	4, 715	4, 786	4, 765	4, 762	4, 723	4, 720	4, 689	4, 613



８　特別支援学級児童・生徒数

（１）知的障害特別支援学級

令和５年５月１日現在

学校名	学級数	児　童　数							担任数
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	計	
下松小	2	0	5	1	0	1	5	12	2
久保小	1	0	1	0	0	0	2	3	1
公集小	1	0	1	2	1	1	1	6	1
花岡小	2	1	1	3	0	5	0	10	2
豊井小	1	0	0	0	0	1	0	1	1
中村小	1	1	2	0	1	1	1	6	1
東陽小	1	1	0	0	0	0	0	1	1

学校名	学級数	生　徒　数				担任数
		１年	２年	３年	計	
下松中	1	2	1	0	3	1
久保中	1	1	0	1	2	1
末武中	1	3	3	0	6	1

（２）病弱・身体虚弱特別支援学級

令和５年５月１日現在

学校名	学級数	児　童　数							担任数
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	計	
下松小	1	0	0	0	0	1	0	1	1

学校名	学級数	生　徒　数				担任数
		１年	２年	３年	計	
末武中	1	1	1	0	2	1

（３）弱視特別支援学級

令和５年５月１日現在

学校名	学級数	児　童　数							担任数
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	計	
下松小	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（4）難聴特別支援学級

令和5年5月1日現在

学校名	学級数	児　童　数							担任数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
花岡小	1	0	0	1	0	0	1	2	1
東陽小	1	0	0	1	1	0	0	2	1

学校名	学級数	生　徒　数				担任数
		1年	2年	3年	計	
下松中	1	2	0	0	2	1
末武中	1	1	0	0	1	1

（5）自閉症・情緒障害特別支援学級

令和5年5月1日現在

学校名	学級数	児　童　数							担任数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
下松小	3	5	4	1	2	1	5	18	3
久保小	1	0	1	0	3	1	0	5	1
公集小	2	2	2	2	5	2	1	14	2
花岡小	3	1	3	1	4	5	5	19	3
豊井小	1	1	0	0	0	0	0	1	1
中村小	2	0	1	2	2	1	3	9	2
東陽小	1	0	0	0	1	0	3	4	1

学校名	学級数	生　徒　数				担任数
		1年	2年	3年	計	
下松中	1	3	4	0	7	1
久保中	1	3	0	1	4	1
末武中	2	2	4	3	9	2

9　児童・生徒体位比較表

令和４年度（全国、山口県は令和３年度）

性別	学別	年齢	身長(cm)			体重(kg)		
			下松市	山口県	全国	下松市	山口県	全国
男子	小学校	6	115.9	116.1	116.7	21.2	21.4	21.7
		7	122.0	121.8	122.6	24.2	24.2	24.5
		8	127.9	128.0	128.3	27.6	27.5	27.7
		9	133.1	133.0	133.8	30.4	30.5	31.3
		10	138.4	138.5	139.3	34.4	34.3	35.1
		11	145.4	144.8	145.9	38.9	38.2	39.6
	中学校	12	152.8	152.4	153.6	45.1	44.5	45.2
		13	159.8	159.2	160.6	49.7	48.6	50.0
		14	164.4	164.4	165.7	52.6	52.9	54.7
女子	小学校	6	115.3	114.9	115.8	21.2	21.1	21.2
		7	121.5	121.2	121.8	23.9	23.7	23.9
		8	126.8	127.0	127.6	26.7	26.3	27.0
		9	133.7	132.8	134.1	29.9	29.5	30.6
		10	140.4	140.1	140.9	34.3	34.2	35.0
		11	146.4	146.0	147.3	38.6	38.5	39.8
	中学校	12	150.9	151.6	152.1	42.7	44.1	44.4
		13	154.6	154.1	155.0	46.9	47.0	47.6
		14	155.7	155.9	156.5	49.7	49.5	50.0

１０　下松市教育支援センター「希望の星ラウンジ」

（１）設置の目的

不登校児童生徒に集団生活への適応と自立を促すための指導及び援助を行うことにより、学校生活への復帰等を支援するため。

（２）施設の概要

① 所 在 地　　下松市大字笠戸島字尾泊１５３４番地の１４
② 敷地面積　　１，０２３．７９㎡
③ 建　　物　　鉄筋コンクリート２階建　６８８㎡
　　１階　事務室兼指導室、研修室兼食堂、ホール
　　２階　ミーティングルーム、学習室

（３）開設日時等

① 開設日時　　平日の９時００分から１５時００分まで
② 休 館 日　　土曜日及び日曜日、国民の祝日及び休日
　　８月１３日から８月１６日まで
　　１２月２８日から翌年１月４日まで
　　その他、センターが特に必要と認める日
③ 入室対象　　市内の小学校又は中学校に在籍する児童生徒
④ 入室申込　　在籍する学校の校長の承認を得て、教育委員会へ入室申請書を提出

（４）サテライトルーム

① 開設場所　　下松中央公民館 内（下松市大手町２丁目３番１号）
　　久保公民館 内（下松市大字河内５８３番地１）
　　末武公民館 内（下松市潮音町１丁目１番２号）
② 開設日時　　月・火・水曜日　９時３０分から１２時００分まで

１１　学校給食

小学校では、昭和２６年に全校で完全給食となり、自校調理による給食を実施してきましたが、学校給食衛生管理基準に適合させ、安全・安心な学校給食を実施するため、小学校給食センターを建設し、平成２８年９月から全小学校を対象に共同調理場方式による給食に移行しました。

中学校では、昭和４０年にミルク給食を開始し、昭和６３年から深浦中で完全給食を行い、下松中、久保中、末武中についても中学校給食センターを建設し、平成８年４月から完全給食を始めました。

米飯給食については、昭和５６年度から小学校で、昭和６３年度から深浦中で週２回を実施してきました。平成８年度からは、よりよい学校給食を実施するため、小中学校全てにおいて週３回、平成２２年度からは、中学校において週３．５回の米飯給食を実施し、平成２８年９月からは、小学校において週４回の米飯給食を実施、平成３０年４月からは、中学校においても週４回の米飯給食を実施しています。

（１）実施方法

両給食センターで調理･配送する共同調理場方式で実施。調理･配送については、業者へ委託。

（２）小学校給食センターの概要

①　所 在 地　　下松市葉山２丁目９０４番地６８

②　敷地面積　　８，６２１．７１㎡

③　建　　物　　鉄骨造平屋建　２，４９１．０９㎡

１階　事務室、食育ホール、見学ホール、更衣室、休憩室、洗濯室、準備室、荷受室、検収室、食品庫、計量室、貯米庫、下処理室、炊飯室、揚物・焼物・蒸物室、アレルギー対応室、煮炊き調理室、和え物室、洗浄室、コンテナプール、ボイラー室、防災備蓄庫ほか

④　調理能力　　４，０００食／日

（３）中学校給食センターの概要

①　所 在 地　　下松市潮音町２丁目１６番３８号

②　敷地面積　　２，６５７．８２㎡

③　建　　物　　鉄骨造２階建　８９０．０７㎡

１階　事務室、準備室、検収室、調味料庫、食品庫、米庫、冷凍室、冷蔵室、調理済食品専用冷蔵室、下処理室、炊飯コーナー、揚物・焼物コーナー、カッティングコーナー、煮炊コーナー、洗浄コーナー（洗浄・消毒室）、コンテナプール、残菜室、ボイラー室

２階　会議・研修室、男子休憩室、女子休憩室、シャワー室、湯沸室、洗濯室、見学廊下

④　調理能力　　２，１００食／日

（４）学校給食費

年度	調定額（円）	収入額（円）	収納率（%）	給食費単価（円）	
				小学校	中学校
R1	228,830,128	227,325,623	99.34	255	305
R2	227,146,208	225,687,263	99.36	255	305
R3	247,183,381	246,378,051	99.67	255	305
R4	241,410,834	239,963,639	99.40	255	305
R5	247,000,000			255	305

※令和元年度から令和３年度は決算額、令和４年度は決算見込額、令和５年度は当初予算額

Ⅳ　社会教育

1　社会教育分野別努力事項

（1）青少年の健全育成

①　地域ぐるみでの青少年活動の推進
②　青少年育成団体の活動支援
③　子どもの読書活動の促進
④　青少年を取り巻く環境改善活動の推進
⑤　青少年育成の啓発・情報提供
⑥　青少年相談の充実

（2）生涯学習環境の充実

①　公民館の充実
②　公民館の施設整備
③　図書館の充実
④　移動図書館の充実
⑤　電子図書館の充実

（3）生涯学習の推進

①　生涯学習機会の充実
②　生涯学習活動支援の充実
③　生涯学習による人づくり・地域づくり
④　市民憲章の普及啓発

（4）文化活動の振興

①　文化活動の支援
②　文化行事の開催・充実
③　吹奏楽のまちづくり
④　「スターピアくだまつ」の活用促進

（5）歴史・伝統の保護と活用

①　文化財の保護と活用
②　歴史・民俗資料の展示・収蔵による活用
③　市史編さん準備事業の推進

（6）スポーツ環境の充実

①　スポーツ組織の育成・支援
②　スポーツ指導者の育成・確保
③　スポーツ施設の整備・運営

（７）スポーツの推進

①　競技スポーツの振興

②　スポーツの普及

③　スポーツイベントの充実

④　子どものスポーツ推進

⑤　スポーツと観光の融合

⑥　東京２０２０オリンピック・パラリンピックレガシーの継承と発展

（８）人権の尊重

①　社会教育における人権学習の推進

２　社会教育委員（公民館運営審議会委員兼任）

任期　令和４年６月１日～令和６年５月 31 日

氏　　名	選任区分	役　職　等
西　本　　隆	学校教育	下松市小学校長会会長
濵　﨑　美　幸		下松市中学校長会会長
柴　﨑　太　志		山口県立下松高等学校校長
橋　本　貴　代	社会教育	下松市子ども会育成連絡協議会会長
古　田　尊　子		下松市連合婦人会会長
桑　野　　優		下松市小中ＰＴＡ連合会会長
大　段　　宏		下松市スポーツ協会監事
福　永　　學		下松市文化協会会長
田　村　育　人		下松市スポーツ少年団本部長
田　中　宏　明	家庭教育	下松市主任児童委員
原　田　洋　美		ＮＰＯ法人こども劇場くだまつ代表
森　　徳　治	学識経験	学識経験者（鋼鈑幼稚園園長）
金　谷　匡　人		下松市文化財審議会会長
小　本　輝　夫		総合型地域スポーツクラブ会長
永　田　憲　男		下松市民憲章推進協議会会長
坂　田　祐　次		公益財団法人下松市文化振興財団事務局長

３　人権教育推進委員

任期　令和５年６月１日～令和６年５月 31 日

氏　　名	選任区分	役　　職　　等
古　本　清　行	学識経験	松星苑（第１しょうせいえん施設長）
河　谷　紀美子		山口県教育会下松支部
古　田　尊　子		下松市連合婦人会会長
竹　内　美　幸		下松市子ども会育成連絡協議会
大　木　訓　子		人権擁護委員
柴　﨑　太　志	教育関係	山口県立下松高等学校校長
清　木　伸　幸		山口県立華陵高等学校校長
大　田　真　一		山口県立下松工業高等学校校長
藤　田　哲　彦		下松市中学校長会
江　藤　弘　康		下松市小学校長会
西　村　英　亮		下松市小中学校ＰＴＡ連合会
岡　村　博　子		下松市私立幼稚園協会
見　山　祥　昭		下松市保育園協会
福　田　真　美	行政	下松公共職業安定所
瀬　来　輝　夫		下松市健康福祉部

４　公民館の概要

社会教育の中心施設である公民館は、市内に１０館を設置し、それぞれ地域の特色を活かした活動を行っています。

公　民　館　名 所　在　地 館　長　名	構　造 面　積	主 な 事 業
下松中央公民館 下松市大手町２丁目３番１号 桑島　洋明	鉄骨２階 1,702 ㎡	家庭教育学級、高齢者教室、公民館まつり、サークル活動、 世代間交流事業、学校協働事業
久保公民館 下松市大字河内 583 番地１ 藤本　泰延	鉄筋２階 998 ㎡	家庭教育学級、高齢者教室、 公民館まつり、サークル活動、 世代間交流事業
末武公民館 下松市潮音町１丁目１番２号 内山　教雄	鉄筋２階 890 ㎡	家庭教育学級、高齢者教室、 公民館まつり、サークル活動、 世代間交流事業
花岡公民館 下松市大字末武上 1280 番地１ 清水　信男	鉄筋１階 1,017 ㎡	公民館まつり、 ボランティア登録事業 サークル活動、世代間交流事業
豊井公民館 下松市琴平町２丁目８番７号 松井　淳	鉄筋３階 1,445 ㎡	高齢者教室、学校協働事業 家庭教育学級、公民館まつり、 サークル活動、世代間交流事業
笠戸公民館 下松市大字笠戸島 209 番地 廣中　作次	木造１階 275 ㎡	公民館まつり、サークル活動、 世代間交流事業
深浦公民館（指定管理者：深浦地域づくり推進協議会） 下松市大字笠戸島 1117 番地１ 及び 902 番地２ 中村　啓	木造１階 517 ㎡ （体育館は鉄筋１階 479 ㎡）	公民館まつり、サークル活動、 世代間交流事業
笠戸島公民館 下松市大字笠戸島 698 番地 鬼武　良光	鉄骨１階 368 ㎡	家庭教育学級、公民館まつり、 サークル活動、世代間交流事業
中村公民館（中村総合福祉センター併設） 下松市瑞穂町４丁目３番 12 号 大崎　広倫	鉄骨２階 912 ㎡	家庭教育学級、ふれあい広場、 サークル活動、世代間交流事業
米川公民館 下松市大字下谷 167 番地１ 田村　敏彦	鉄筋２階 629 ㎡	サークル活動、世代間交流事業

５　図書館の概要

市立図書館は昭和２７年４月に開設され、その後、三度の建て替えを経て、平成２４年７月に市民交流拠点施設「ほしらんど　くだまつ」内に新館開館しました。市民生活に役立つ情報拠点となるべく、蔵書の充実に努めるとともに、移動図書館あおぞら号の機動力を活かし、市内全域における図書館サービスを展開しています。また、令和２年１０月には電子図書館を開設し、図書館に来館しなくても、電子書籍を利用できる環境整備を行いました。

（１）施設の概要

①　所 在 地　　下松市大手町２丁目３番１号

②　建　　物　　鉄骨造　地上２階（一部３階）　１，９８３．０３㎡
一般コーナー、新刊コーナー、郷土資料・調べ物コーナー
児童コーナー（おはなしのへや／親子読み合いの部屋／授乳室／こどもトイレ）・ティーンズコーナー、新聞・雑誌コーナー／インターネットコーナー、持込パソコンコーナー
ＣＤ試聴コーナー、ボランティア活動室

③　開館時間　　火～金曜日　９時３０分～１８時３０分
土、日曜日　９時３０分～１７時３０分

④　休 館 日　　毎週月曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、
月例整理日（毎月第４木曜日）、年末年始、蔵書点検期間

（２）資料

①　蔵書点数　　令和 5 年 3 月 31 日現在

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	計
4,492	6,375	15,400	22,110	14,412	18,339	6,388	249,446 点
芸術	語学	文学	児童	郷土資料	ＡＶ	その他	
19,323	3,366	62,626	65,229	7,390	3,737	259	

②　電子書籍コンテンツ数　11,658 点

③　定期刊行物　新聞（購入分 13 種）、雑誌（購入分 85 種）

（３）利用状況　　令和 4 年度

本　　館	開館日数		273 日
	貸出点数	（1 日平均　1,863 点）	508,496 点
	貸出人数	（1 日平均　419 人）	114,520 人
移動図書館	巡回日数		141 日
	開設ステーション数		53 箇所
	貸出点数	（1 日平均　218 点）	30,676 点
	貸出人数	（1 日平均　62 人）	8,740 人
電子図書館	貸出点数		3,888 点
	貸出人数		892 人

６　文化財保護

下松市は、国指定重要文化財４件、特別天然記念物１件、県指定文化財３件、市指定文化財１４件、その他古墳遺跡７２件を有しています。

今後もこれらの貴重な文化財の保護の徹底と、民俗文化財の収集、保存に努めるとともに、文化財愛護思想の普及を図ります。

下松市の文化財　　令和５年５月１日現在

区　分	名　称	数量	所　在　地	種　別	指定年月日
国指定 重要文化財	閼伽井坊多宝塔	1 基	下松市大字末武上 (閼伽井坊)	建造物	M40. 5.27
	附 棟 札	5 枚	同　　上	―	S54. 2. 3
	三角縁盤龍鏡	1 面	東京都台東区 (東京国立博物館)	考古資料	S30. 2. 2
	三角縁神獣鏡	2 面	同　　上	考古資料	S30. 2. 2
	内行花文鏡	1 面	同　　上	考古資料	S30. 2. 2
特別 天然記念物	八代のツル およびその渡来地	1 箇所	下松市大字瀬戸	特別天然 記念物	H 元. 8.14
県指定 有形文化財	金銅如意輪 観音菩薩半跏像	1 躯	下松市大字末武上 (日天寺)	彫　刻	S41. 6.10
	星 宿 図 (寺伝須弥山図)	1 基	下松市生野屋 3 丁目 (多聞院)	絵　画	S52. 3.29
県指定無形 民俗文化財	切山歌舞伎	1 団体	下松市大字切山 切山歌舞伎保存会	無形民俗 文化財	S51. 3.16
市指定 有形文化財	破邪の御太刀	1 口	下松市大字末武上 (花岡八幡宮)	工芸品	S48. 9.22
	鉄造鰐口	1 口	同　　上	工芸品	S51. 6.29
	木造千手 観音菩薩立像	1 躯	下松市大字瀬戸 (梁観音堂)	彫　刻	S51. 6.29
	花岡八幡宮文書	60 通	下松市大字末武上 (花岡八幡宮)	古文書	S48. 9.22
	木造八幡宮扁額	3 面	同　　上	歴史資料	S61. 9.30
	銅造神馬	1 頭	同　　上	彫　刻	S61. 9.30

区　分	名　称	数量	所　在　地	種　別	指定年月日
市指定有形文化財	絹本淡彩妙見社参詣図	1幅	下松市中市1丁目（鷲頭寺）	絵　画	S61. 9.30
	妙見宮鷲頭寺の棟　札	3枚	同　上	歴史資料	H21. 9.24
市指定有形民俗文化財	絵　馬（絵馬1・下絵1）	1枚	下松市大字末武上（花岡八幡宮）	絵　画	S48. 9.22
市指定記念物	宮原古墳	1基	下松市大字末武中	史　跡	S48. 9.22
	降松神社若宮ヤマザクラ	1本	下松市大字河内（降松神社）	天　然記念物	H19. 5. 1
	旧内藤家庭園	1035.78㎡	下松市大字瀬戸	名　勝	H28. 10.3
	花岡御茶屋ノ槙柏	1本	下松市大字末武上	天　然記念物	H28. 10.3
	天王森古墳	1基	下松市桜町3丁目	史　跡	H29.12.19

7　文化財審議会委員

氏　名	任　期
砂　田　譲　二	令和4年 6月 1日～令和6年 5月31日
田　中　三千男	令和4年 6月 1日～令和6年 5月31日
網　野　ゆかり	令和4年 6月 1日～令和6年 5月31日
金　谷　匡　人	令和4年 6月 1日～令和6年 5月31日
渡　辺　一　雄	令和4年 6月 1日～令和6年 5月31日

8　下松市郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎（や）」の概要

下松市郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」は、旧江の浦小学校の校舎の一部を転用し、平成２８年１０月２８日に開設したものです。

これまで下松小学校社会教育棟の歴史民俗資料展示室に収蔵されていた埋蔵文化財や歴史民俗資料を本施設へ移転させ、さらに本市の文化財等郷土資料や笠戸島に関連する資料を収集し、公開しています。

○施設の概要

・所在地　　下松市大字笠戸島１００３２番地３８（旧江の浦小学校）
・開館時間　火、木、土、日曜日、及び祝日　１０時から１６時まで
・休館日　　１２月２９日から１月３日、及び祝日開館した場合の次の開館日

Ⅴ　社会体育

市民一人ひとりが明るく健康な生活を実現するため、市民生活に密着した健康体力づくりとスポーツ活動の推進に努めるとともに、体育施設の整備充実を図ります。
なお、スポーツ関連事業については地域振興部地域交流課にて所管しています。

1　体育施設の概要

令和５年５月１日現在

施設名	施設の概要	使用時間
下松市 市民体育館 TEL:41-2832	下松市西柳１丁目１番１号 鉄骨・鉄筋コンクリート造 延床面積 2,543 ㎡ 収容人員 １階 2,000 名 ２階 1,000 名	・9 時～22 時 （日曜日及び祝日法に規定する休日は、9 時～17 時まで） ・休館日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松市 市民武道館 TEL:41-2832	下松市西柳１丁目１番１号 鉄筋コンクリート造　延床面積 544 ㎡ 柔道 192 ㎡（畳 96 枚） 剣道 192 ㎡（板）	令和４年４月１日～ 供用の中止
下松市 公園プール TEL:41-2832	下松市西柳１丁目１番１号 小学生用プール 長さ 20m、巾 6m 深さ 0.7～0.8m 幼児用プール 263 ㎡、すべり台２基 深さ 小プール 0.2m～0.28m 大プール 0.5m～0.6m	・7 月 21 日～8 月 31 日の 10 時～16 時 ・休場日 上記期間外及び、上記期間中の火曜日
下松スポーツ 公園体育館 TEL:45-3700	下松市大字河内 10140 番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨 延床面積 4,328 ㎡ 観覧席２階固定式 712 席、 車椅子 10 人分	・9 時～22 時 （日曜日及び祝日法に規定する休日は、9 時～17 時まで） ・休館日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松スポーツ 公園総合 グラウンド TEL:45-3700	下松市大字河内 10140 番地 面積 22,688 ㎡、固定バックネット３基、 移動バックネット１基、400m トラック、 ソフトボール４面	・6 時～日没 ・休場日 12 月 29 日～1 月 3 日

施 設 名	施 設 の 概 要	使 用 時 間
下松スポーツ 公園球技場 TEL:45-3700	下松市大字河内 10140 番地 面積 9,200 ㎡ (L=115m W=80m) サッカーゴール一般用 1 対、ジュニア用 2 対、サッカー、グラウンドゴルフ	同　　上
下松スポーツ 公園 ゲートボール場 TEL:45-3700	下松市大字河内 10140 番地 面積 1,144 ㎡ (26.55m×21.55m×2 面) 1 面は上屋有	・6 時～日没 ・休場日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松市温水プール（アクアピアこいじ） TEL:41-6200	下松市大字河内 10140 番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 延床面積　5,072 ㎡ 25mプール 8 コース（水深 1.2m～1.4m)、ならしプール（水深 1.0m～1.1m）幼児プール(水深 0.55m)、ワークプール、大会議室、談話室、観覧室、トレーニング室、浴室ほか ※プール及び浴室の利用を休止中	・11 時～20 時 (土曜日、日曜日及び祝日法に規定する休日は、10 時～18 時まで) ※12 月 28 日をもって全館閉鎖。
下松市 市民運動場 TEL:41-2832	下松市大字末武下 620 番地 1 敷地 17,773 ㎡（駐車場 4,572 ㎡を除く） 固定バックネット 4 基、 夜間照明施設用コンクリートポール 8 基・96 灯	・6 時～22 時 ・休場日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松市 葉山グラウンド TEL:45-3700	下松市葉山 1 丁目 819 番地 34 敷地 18,300 ㎡（駐車場を除く） 固定バックネット 2 基	・6 時～日没 ・休場日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松市 恋ケ浜緑地 庭球場 TEL:41-2832	下松市大字東豊井 551 番地 1 敷地 6,627 ㎡、コート 8 面	・9 時～日没 ・休場日 12 月 29 日～1 月 3 日
下松公園 庭球場 TEL:41-2832	下松市大字西豊井 460 番地 敷地 699 ㎡ (フェンスまわり 36.45m×19.2m)、コート 1 面	同　　上

2　スポーツ推進委員

任期　令和４年４月～令和６年３月

氏　　名	氏　　名
石　津　孝　弘	内　田　英　雄
大　木　忠　彦	石　川　一　明
実　近　幸　子	伊　内　智　治
近　藤　久美子	原　田　晃　一
大　谷　　晃	岡　﨑　千　春
中　村　由佳里	野　間　　淳
高　岡　大　良	井　上　尚　敏
神　田　峰　一	加　地　幸　秀
森　繁　哲　也	村　上　里　香
北　風　正　幸	佐　藤　　亨
今　井　利　昭	中　村　竜　也
岩　本　幸　雄	宮　本　純　美

Ⅵ　下松市教育研究所

１　研究所の設置

本市教育の全体的振興と教職員の資質の向上を図るため、教育の原理と実践に関する調査・研究を行う目的から、昭和２８年２月、「下松市教育研究所」を教育委員会事務局内に設置しました。

このような教育の専門研究機関の設置は県下地教委でも先駆的な施策の一つであり、設置以来本市教育行政や教育水準の向上、さらには、伝統ある「下松教育」の確立とその推進の中心的役割を果たしています。

２　下松市教育研究構想

（１）研究主題　～心豊かに生きる力を育む～

①　研究主題策定の経緯と背景

下松市の教育研究は「豊かな人間性の育成と人間能力の開発を図り、知・徳・体の調和のとれた主体的な人間の育成」を目標として、昭和３９年度以来、「学びとりの姿勢を求めて」を主題に研究に取り組み、たゆみない実践研究から先進的な成果を収めてきました。しかし、情報化・国際化・高齢化の進展や価値観の多様化等を背景として、次の時代を担う子どもたちの育成に対応する教育の在り方を求める気運が高まってきました。

折から、学習指導要領の改訂・実施を迎え、激動する時代の中の学校教育という視座で新学習指導要領の趣旨をとらえ、心の教育の充実、個性の伸張、基礎基本の習熟、自己教育力の育成、日本の文化と伝統の尊重、国際理解等の推進をねらった新しい下松教育の展望が望まれていました。その中で、平成４年、これまでの研究成果を継承しつつ、「２１世紀を心豊かにたくましく生きる子ども」の実現に向けて、下松市全教職員の総意を反映した研究主題「心豊かに生きる力を育む」を策定しました。

②　研究概要

「心豊かに生きる力を育む」教育理念は、変化の激しい社会を担う子どもたちに、基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などの力を育むことにあります。この理念を具現化していくためには、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力といった知・徳・体の調和を図る教育を推進するとともに、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲を重視し、これらを調和的に育むことが必要であります。

そこで、研究主題「心豊かに生きる力を育む」の理論構築とあわせ、下松市教育委員会、小・中学校教職員研修会、下松市教育研究所がそれぞれの独自性を保持しながら三位一体となって授業改善に努めてきました。

なお、この間、学習指導要領は大きな改訂を三度※行いましたが、それぞれの改訂の趣旨と本市の研究主題「心豊かに生きる力を育む」の方向性については、根底において全く変わらないものだと捉えています。

※学習指導要領改訂の趣旨（キーワード）

＜平成９年告示＞基礎基本と「生きる力」の育成

＜平成１９年度告示＞「生きる力」と思考力・判断力・表現力の育成

＜平成２９年度告示＞主体的・対話的で深い学びの実現

（２）年次別研究副主題

○　第１次（平成４年度～平成６年度）
「自己教育力を目指す授業の設計」

○　第２次（平成７年度～平成１０年度）
「豊かな自己の創造を目指す授業」

○　第３次（平成１１年度～平成１３年度）
「特色ある学校づくりを目指す教育課程の編成」

○　第４次（平成１４年度～平成１６年度）
「確かな学びを保障する教育の創造」

○　第５次（平成１７年度～平成１９年度）
「より確かな学びを追究する教育の創造的展開」

○　第６次（平成２０年度～平成２８年度）
「学びの基盤としての豊かな人間性を培う教育の推進」

○　第７次（平成２９年度～令和２年度）
「主体的・対話的で深い学びの実現」

○　第８次（令和３年度～）
「たくましく未来を拓く子どもの育成をめざす学校組織マネジメント」

これまでの研究で、確かな学力を育てるためには、道徳教育の果たす役割が重要であることを再確認しました。

そこで、平成２０年度から、指導や評価に関する研究にとどまらず、豊かな人間性をどのように育成すべきかについて、道徳教育を中心に研究を進めてきました。

その中で、道徳の時間における心に響く道徳教育の在り方や各教科における道徳教育の在り方等を研究し、成果を上げてきました。

令和元年度から令和２年度にかけては、道徳性育成のための中心的な学習活動の場として特別活動を加え、よりよい集団づくりをめざした指導の在り方や道徳の教科化に向けて「考え、議論する道徳」の授業づくりや評価の在り方について研究をさらに深めました。また、ICT 機器を活用した協働的で深い学びの実現に向け、学習指導の在り方についての研究を推進しました。

また、令和３年度からは、学校組織の構成員である教員に求められるマネジメント能力に着目した研究を行っているところです。

（３）今年度の研究の方向性

第８次研究副主題である「たくましく未来を拓く子どもの育成をめざす学校組織マネジメント」を踏まえ、所員が下松市の学校教育に関する課題を設定し、解決に向けた取組を引き続き行っていきます。昨年度は、システム思考による課題解決の方法やマネジメントの視点からの授業づくり等について講義や演習を通して学ぶことができました。令和５年度も引き続き、教職員に求められるマネジメント能力に焦点を当て、組織力や資質能力の向上を目指す研究を推進していきます。

Ⅶ　資料

1　沿革・教育年譜

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
1939 年 (昭和 14)	11. 3　下松町・花岡村・久保村・末武南村を合併し、下松市制施行	
1940 年 (昭和 15)	7.19　市章制定	
1941 年 (昭和 16)		4. 1　各小学校を国民学校に改称
1946 年 (昭和 21)		1.10　市体育会を体育協会に改名 1.　第１回下松一周駅伝競走大会開催
1947 年 (昭和 22)	7. 1　市役所支所設置 （下松支所・久保支所・花岡支所・末武支所・豊井支所・江の浦支所）	2.17　学校給食開始 4. 1　６・３制施行 国民学校を小学校に改称 ＰＴＡ発足 5. 1　新制中学校一斉開校 一中（下松）、二中（久保）、三中（末武）、四中（花岡）、五中（深浦）
1948 年 (昭和 23)	2. 2　市役所豊井支所廃止	
1949 年 (昭和 24)		12.31　下松市社会教育委員会設置
1950 年 (昭和 25)		5.11　下松市連合婦人会発足 8.29　重要文化財に「閼伽井坊多宝塔」を指定（※文化財指定は、明治 40 年 5 月 27 日） 10. 3　第１回下松市美術展開催 11. 3　第１回下松市体育祭開催
1951 年 (昭和 26)		1.22　下松二中校舎完成 4. 2　下松四中校舎完成 9. 1　下松五中校舎完成 11. 3　下松市文化協会発足
1952 年 (昭和 27)		1.31　下松三中校舎完成 4. 1　下松市民館開設 深浦小学校江の浦分校を江の浦小学校に昇格 4. 6　下松市立図書館開設 7.31　下松一中校舎完成 11. 1　下松市教育委員会発足 11. 7　第１回下松市音楽祭開催

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
1953 年 (昭和 28)		1.10　下松市民館花岡分館開設 7. 5　笠戸小学校講堂完成 8.　中・小学校統合整備計画樹立（末武中創設、下松中の移転、各小学校の全面的整備） 12.15　久保小学校講堂兼公民館完成
1954 年 (昭和 29)	4. 1　市役所各支所を廃止 久保、花岡、末武、江の浦に出張所を設置 11. 1　米川村を編入合併	1. 8　下松一中新校舎第１期工事完了 1.20　公集小学校講堂完成 4. 1　市立図書館児童室開設 6. 5　下松地方史研究会発足
1955 年 (昭和 30)	12. 5　県営温見ダム完工式	2. 2　重要文化財に「三角縁盤龍鏡」他３面を指定 2. 5　第１回下松市教育研究大会開催 2.28　末武中学校校舎完成 3.26　米川小学校鉄筋校舎、講堂完成 4. 1　中学校校名変更 下松中学校（下松一中）、 久保中学校（下松二中）、 末武中学校（下松三中、四中）、 深浦中学校（下松五中） 6.29　豊井小学校講堂完成 6.　深浦小学校講堂完成 6.30　下松市民館を下松中央公民館に 花岡分館を花岡公民館に改称 9.14　市立図書館巡回文庫開始
1956 年 (昭和 31)		11. 1　下松小学校で道徳教育研究大会開催
1957 年 (昭和 32)		5. 4　江の浦小学校講堂完成 6. 6　下松交響楽団結成 7. 2　下松市青少年問題協議会設置 9.15　第１回市民芸能祭開催
1960 年 (昭和 35)		6. 6　下松中学校屋内体操場完成 9.20　中村小学校整備事業完了 10.20　笠戸小学校整備事業完了
1961 年 (昭和 36)		4.　下松中学校、末武中学校、深浦中学校校舎増築工事完成 5.20　末武中学校屋内体操場完成 9.13　運動公園完成（市民体育館・公園プール）
1962 年 (昭和 37)	4. 1　都濃郡都濃町滝の口地区を編入合併	4.16　下松小学校校舎整備完成 5.　久保中学校技術教室ほか増築工事完成

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
1962 年 (昭和 37)		6.　深浦中学校技術教室ほか増築工事完成 11. 1　移動図書館開設 下松市教育委員会発足 10 周年記念式典開催
1963 年 (昭和 38)	10.28　第 18 回国民体育大会（ハンドボール競技）下松中、末武中、下松工、市民体育館で開催	3.31　米川小学校大藤谷分校廃校 4. 1　久保、末武、豊井、笠戸、深浦、江の浦、中村、米川公民館開設 12. 7　久保中学校屋内体操場完成
1964 年 (昭和 39)		7.14　深浦小学校校舎整備完成 10.26　市民会館及び図書館完成
1965 年 (昭和 40)	12. 2　下松橋上駅完成	2.　久保小学校校舎増改築工事完成 4.10　中学校牛乳給食開始
1966 年 (昭和 41)		1.21　豊井小学校改築工事完成 6.10　県指定文化財に日天寺の「金銅如意輪観音菩薩半跏像」を指定
1967 年 (昭和 42)		11.13　教育委員会発足 15 周年記念教育祭開催 11.27　財団法人下松市奨学会創設認可（明治百年記念事業）
1968 年 (昭和 43)		4. 1　米川中学校を末武中学校に統合、スクールバス運行開始 4. 7　市民武道館開設 4.12　深浦中学校屋内体操場完成
1969 年 (昭和 44)	10.13　市民憲章を市議会で議決	3.11　下松小学校屋内体操場完成 6.11　下松市民憲章制定促進協議会発足
1970 年 (昭和 45)	10.29　旗岡団地造成事業完工 11.14　笠戸大橋完成	3. 7　花岡小学校木造校舎完成 4. 1　旧米川中学校跡地に米川小学校校舎新改築移転 11. 5　下松教育研究全国発表大会開催
1971 年 (昭和 46)		3.20　中村小学校屋内体操場及び音楽教室完成 7.20　下松市児童生徒等安全会発足
1972 年 (昭和 47)	11. 3　市民の花をサルビアに決定	3. 9　スクールゾーンを設定 7. 1　幼稚園就園奨励費補助制度発足 8.10　学制発布 100 周年、市教委発足 20 周年記念式典 9. 1　洲鼻－豊井小学校間でスクールバス運行開始 9.30　末武中学校技術家庭特別教室完成
1973 年 (昭和 48)		3.27　下松市教育振興財団設立認可 5.22　末武公民館完成

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
1973 年 (昭和 48)		8.　建設労働組合下松支部、小中学校営繕奉仕開始 9.17　市指定文化財に花岡八幡宮の「絵馬」、「破邪の御太刀」、「花岡八幡宮文書」及び「宮原古墳」を指定
1974 年 (昭和 49)		3.20　下松小学校鉄筋３階建て校舎完成 3.30　下松中学校技術科教室完成 6.15　公集小学校鉄筋３階建て校舎完成 6.25　下松市教育集会所設置 10.24　市民憲章推進運動第９回全国大会を開催（10/24～10/26）
1975 年 (昭和 50)	12.10　ヤマモモを市の木に決定	4. 1　下松小学校に特殊学級設置 11. 7　全日本９人制バレーボール総合男子選手権大会開催
1976 年 (昭和 51)		3.16　県指定無形民俗文化財に「切山歌舞伎」を指定 3.23　花岡小学校鉄筋３階建て校舎完成 6.29　市指定文化財に花岡八幡宮の「鉄造鰐口」、梁観音堂の「木造千手観音菩薩立像」を指定
1977 年 (昭和 52)		3.14　下松市青少年育成協議会発足 3.29　県指定文化財に多聞院の「星宿図（寺伝須弥山図）」を指定 9. 1　下松小学校に「ことばの教室」開設 10. 5　下松市文化振興基金条例制定
1978 年 (昭和 53)		10. 9　下松小学校鉄筋４階建て校舎完成
1979 年 (昭和 54)		2. 3　重要文化財に閼伽井坊多宝塔の「棟札」を追加指定 4. 2　花岡公民館（出張所併設）開館 6.23　花岡小学校鉄筋３階建て校舎完成 9.20　中村小学校鉄筋３階建て校舎及び給食室完成 9.29　公集小学校鉄筋４階建て校舎完成
1980 年 (昭和 55)		2. 4　久保公民館（出張所併設）完成 3.　「下松市の民話・伝説と民謡」発刊 3.31　新市立図書館完成
1981 年 (昭和 56)	11.24　県道下松鹿野線米川トンネル貫通	3. 5　久保小学校全面改築、新校舎完成 3.　民俗文化財調査書「下松市の石造文化財・祈りと生活」発刊 12.16　花岡小学校屋内運動場完成

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
1982 年 (昭和 57)		3.　　「下松市の風俗と生活」発刊 4. 1　豊井公民館開館 4.30　市文化財編集事業スライド「きょうど下松」完成
1983 年 (昭和 58)	3.26　久保団地造成事業完工 7.16　はなぐり海水浴場オープン	3. 7　末武中学校鉄筋３階建て校舎完成 3.31　市教委発足 30 周年記念誌「下松市の教育」を発刊
1985 年 (昭和 60)	7.12　下松市役所新庁舎落成	3. 6　江の浦小学校鉄筋２階建て校舎完成 3.10　米川小学校屋内運動場及び音楽室完成 5. 7　セミナーハウス「笠戸島少年の家」完成 11.11　末武中学校柔剣道場完成
1986 年 (昭和 61)		3. 5　久保小学校屋内運動場完成 3.20　末武中学校グラウンド拡張事業完成 4.11　東陽小学校開校式開催 4.　各中学校に教育相談室を開設 5.10　市青少年室に「ヤングテレホンくだまつ」を開設 7.24　久保中学校校地拡張事業完成 9.30　市指定文化財に花岡八幡宮の「扁額」、「銅造神馬」、鷲頭寺の「絹本淡彩妙見社参詣図」を指定
1987 年 (昭和 62)	3.27　岩徳線生野屋駅開業	2.28　久保中学校鉄筋４階建て校舎完成 3. 9　公集小学校屋内運動場完成 11.20　久保小学校屋外教育環境設備事業完成
1988 年 (昭和 63)		2.17　下松中学校武道場完成 3.16　豊井小学校屋内運動場完成 4. 7　深浦中学校で中学校給食を開始 7.28　市青少年問題協議会が発足 8. 1　英語指導助手を招致し市内中学校で巡回指導開始
1989 年 (平成元)		1.20　第１回市内中学校英語暗唱大会を開催 8.14　特別天然記念物「八代のツル及びその渡来地」に市内渡来地が追加指定 11. 3　下松市史通史編を発刊

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
1990 年 (平成 2)	8. 6　下松工業高校ハンドボール部全国高校総体で優勝	3.15　東陽小学校鉄筋２階建て校舎完成
1991 年 (平成 3)	2. 8　末武川ダム（米泉湖）完工式 3.27　下松公園に星の塔完成 7. 6　笠戸島家族旅行村オープン 10.26　下松高校が全日本吹奏楽コンクールで金賞受賞	7.21　第１回青年海外派遣事業女性１名をニュージーランドへ派遣 7.25　第１回青少年海外派遣事業「ジュニア大使」として、小学生２名をアメリカ合衆国へ派遣
1992 年 (平成 4)	8.10　下松工業高校ハンドボール部全国高校総体で優勝	9.12　学校週５日制を実施（月１回） 10.19　生涯学習推進本部を設置 11.29　第１回下松市国際交流のつどい開催
1993 年 (平成 5)	11. 5　ザ・モール周南オープン	1.28　財団法人下松市文化振興財団発足 3.10　東陽小学校鉄筋２階建て校舎完成 11. 1　下松市文化健康センター開設 11. 1　文化会館の名称「スターピアくだまつ」に決定
1994 年 (平成 6)		2. 6　下松市生涯学習推進大会開催 6.16　下松吹奏楽協会設立
1995 年 (平成 7)	10. 1　恋路クリーンセンター本稼動	2.　久保中学校屋内運動場完成 4. 1　下松市民会館を「下松中央公民館」に改組
1996 年 (平成 8)	10. 1　温水プール「アクアピアこいじ」オープン	3.28　中学校給食センター落成式 4.11　中学校給食がスタートし、県内初の副食複数メニューを導入 11. 1　「下工弁慶号」を永久保存展示
1997 年 (平成 9)		7.22　中央公民館に「生涯学習情報コーナー」開設
1999 年 (平成 11)	8. 5　末武大通り全通	1.15　「成人式」、官民一体化した実行委員会方式で開催 4. 1　「くだまつふれあいラウンジ」開設（末武中学校内） 5. 1　適応指導教室「希望の星ラウンジ」開設（セミナーハウス内）
2000 年 (平成 12)	4. 1　ふくしの里に地域交流センター「ふれあいの館」開設	6. 1　新学習指導要領移行措置による「総合的な学習の時間」支援事業開始 9.　義務教育施設整備１０箇年計画策定

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
2001 年 （平成 13）	7.14　２１世紀未来博覧会 ～9.30　「山口きらら博」開催 8．9　「山口きらら博」内で「下松市の日」開催	6.　子どもセンター「星の子ネット」設立 9．8　第１回星のふるまち童謡フェスタ開催
2002 年 （平成 14）		4．1　深浦中学校休校 4.　完全学校週５日制実施 12.21　心豊かな人づくり事業シンボルマーク、あいさつ運動キャッチフレーズ決定
2003 年 （平成 15）		8．4　下松中学校新校舎竣工式
2004 年 （平成 16）	6．4　切山墓地完成	1．7　米川小学校交通無事故１万日達成 1.22　笠戸小学校交通無事故１万日達成 3.31　末武中学校屋内運動場竣工式 4．1　笠戸島公民館（出張所併設）開設
2005 年 （平成 17）	3.12　国道２号線開通（切山－山田）	3.30　公集小学校普通教室棟竣工式 12.13　下松市要保護児童対策協議会設置
2006 年 （平成 18）	3.30　市道大手線全通	11.11　国民文化祭やまぐち２００６ 星のふるまち童謡フェスタ in くだまつを開催
2007 年 （平成 19）		3.　下松市子どもの読書活動推進計画策定 3．6　花岡小学校管理・特別教室棟、普通教室棟竣工式 4．1　深浦小学校休校 4．1　「くだまつふれあいラウンジ」を末武中学校内から公集小学校内に移設 5．1　市指定文化財に「降松神社若宮ヤマザクラ」「東光寺泉所寺のヤマザクラ」を指定 6.18　学校施設耐震化基本計画、第一期年次計画策定 11．1　「下松市放課後子ども教室」開設（下松小学校区）
2008 年 （平成 20）	3.22　華陵高校が第８０回選抜高等学校野球大会に出場 4．1　下松スポーツ公園体育館開設	4．1　下松中学校に通級指導教室開設 4．1　全ての体育施設へ指定管理者制度を導入 8.26　下松市児童生徒等安全会解散

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
2009 年 (平成 21)	8. 8　華陵高校が第 91 回全国高等学校野球選手権大会に出場 11.14　下松市農業体験型交流施設開設	3.16　下松中学校屋内運動場竣工式 3.31　下松市公園プール内５０ｍプール廃止 9.24　市指定文化財に「妙見宮鷲頭寺の棟札」を指定
2010 年 (平成 22)	8. 9～12　「おいでませ！山口国体競技別リハーサル大会」を開催	3.　「心豊かな人づくり事業シンボルマーク」の愛称が「キラリン」に決定 2.22　花岡小学校普通教室棟増築完成 3. 5　公集小学校特別教室棟完成 3.28　深浦小学校内に深浦公民館を移転、開館 7.　「下松市市民交流拠点施設整備事業基本計画」策定 10.31　下松中央公民館建替えのため閉館
2011 年 (平成 23)	8. 7　華陵高校舞台芸術部全国高校総合文化祭で最優秀賞 10. 1～11　「おいでませ！山口国体」を開催 10.22～24　「おいでませ！山口大会」を開催 華陵高校女子ハンドボール部全国高校総体(8.3)、山口国体で優勝	3. 4　下松小学校屋内運動場竣工式 8.10　「たくましい久保っ子放課後子ども教室」開設(久保・東陽小学校区) 11.　「下松市市民交流拠点施設」の愛称が「ほしらんど くだまつ」に決定
2012 年 (平成 24)	3.30　華陵高校女子ハンドボール部第 35 回全国高等学校選抜大会で優勝	2.29　下松市立図書館建替えのため閉館 3.31　下松市市民交流拠点施設「ほしらんど くだまつ」竣工式 4. 1　下松スポーツ公園球技場供用開始 5. 8　下松中央公民館開館 7. 3　下松市立図書館開館 8.26　「はなおか放課後子ども教室」開設（花岡小学校区） 11.30　財団法人下松市奨学会解散 12. 1　下松市奨学金運用開始
2013 年 (平成 25)	8. 2～ 6　下松工業高校登山部全国高校総体で優勝 8. 6　第 16 回日本ジャンボリー地域プログラム（下松市歓迎交流事業）実施	3.31　深浦中学校廃校 4. 1　下松市文化振興財団が公益財団法人に移行 9. 4　「公集放課後子ども教室」開設　（公集小学校区） 11.　小学校給食センター建設候補地を葉山（周南工流シティー）に選定

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
2014 年 (平成 26)	4. 1　下松市上下水道局発足 11. 2　市制施行 75 周年記念式典挙行	2.27　公集小学校新校舎完成 3.31　下松市スポーツ推進計画策定 3.31　笠戸小学校、江の浦小学校、深浦小学校廃校 7.27　「くだまつ親子の日」制定（７月の第４日曜日）
2015 年 (平成 27)	8. 6　第 23 回世界スカウトジャンボリー地域プログラム（下松市歓迎交流事業）実施 10.18　「ねんりんピックおいでませ山口」太極拳交流大会開催 11.18　切山歌舞伎保存会が文部科学大臣表彰（地域文化功労賞）受賞 12.15　都市計画道路青木線開通	3.18　豊井小学校特別教室棟完成 4. 1　深浦公民館に指定管理者制度導入 4. 1　教育総務課に小学校給食センター準備室を設置 6. 6　「下松小･豊井小放課後子ども教室」開設（下松・豊井小学校区） 7.29　地方教育行政法改正に伴い「下松市総合教育会議」を設置 9.25　末武中学校新校舎竣工式
2016 年 (平成 28)	3. 3　消防庁舎が完成 8. 1～7　全国高等学校総合体育大会 高松宮記念杯第 67 回全日本高等学校ハンドボール選手権大会開催（周南市・下松市・光市で引受） 11. 1　国民宿舎「大城」グランドオープン	3.25　読書通帳開始 4. 1　市内全校でコミュニティ・スクールとしての取組開始 6.11　「チャレンジなかむら放課後子ども教室」開設（中村小学校区） 6.30　下松市教育大綱を策定 8. 1　教育委員会事務局に学校給食課を設置 8.29　小学校給食センター竣工式 9. 1　下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ公開 9. 2　共同調理場方式の小学校給食がスタート 10. 3　市指定文化財に「旧内藤家庭園」「花岡御茶屋ノ槙柏」を指定 10.18　郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」を開設
2017 年 (平成 29)	3. 5　「道路を走る高速鉄道車両」見学プロジェクト 4. 1　防災行政無線運用開始 4.30　３９年ぶりに人口過去最高を更新（56,968 人） 5.13　【株式会社レノファ山口及びイオングループと「オー	1.17　下松市スポーツ賞創設 3.17　公集小学校普通教室棟完成 3.17　中村小学校特別普通教室棟完成 3.28　下松市市民体育館耐震改修工事完了 4. 1　学校給食費を公会計化 6. 3　ACT SAIKYO との共催により「ACT

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
	ル山口Ｊリーグで地方創生、まちづくりパートナーシップ包括連携」に関する協定】締結 6．3 「下松市及びACT SAIKYO　地域活性化包括連携協定」締結	チャレンジ2017」を開催 12．9 第42回日本ハンドボールリーグ（男子）開催 12.19 市指定文化財に「天王森古墳」を指定
2018年 (平成30)	7．6 西日本豪雨災害	3. 下松市公民館施設整備計画策定 8. 下松市文化会館改修工事完了 10.18～19 中国地区都市教育長会・定期総会研究協議会を下松市で開催 10.31 下松小学校管理特別棟完成
2019年 (令和元)	4．9 「東京２０２０オリンピックキャンプの実施に関する協定」を下松市、ベトナムバドミントン連盟、ACT SAIKYOの三者で締結 11．2 市制施行80周年記念式典挙行	3.20 下松市公式マスコットキャラクター選挙開票 2.11 第43回日本ハンドボールリーグ（女子）開催 3.31 下松市スポーツ推進計画改定 4．1 公集小学校に通級指導教室開設 4．1 中村公民館が中村総合福祉センター内に併設 5.19 「末武未来塾」開校 6.16 「宝くじスポーツフェアはつらつママさんバレーボール」開催 6.18～21 桃田賢斗選手らを擁するバドミントン「NTT東日本（男女)」チーム及び奥原希望選手の合宿受入れ・交流 7.24 下松市制施行80周年記念　大島商船高専練習船「大島丸」夏休み親子体験乗船実施 9.17～28 ベトナム女子バドミントン「東京２０２０オリンピック」候補グエン・トゥイ・リン選手事前キャンプ受入れ・交流 10.13 下松市民体育祭をリニューアルし、「下松スポーツフェスティバル2019」として開催 11．2 「復刻版　秋の夜話」出版 11.19 下松市制施行80周年記念・下松市民憲章制定50周年記念 小学生によるプレゼンテーション「10年後の下松を夢見て」開催

年　次	下　松　市	下 松 市 教 育
2020年 (令和2)	11.1　下松市組織改編によりスポーツ関連事業を教育員会生涯学習振興課から地域政策部地域交流課へ移管 12.11～13　BADMINTON S/J LEAGUE WEST IN YAMAGUCHI 2020 開催	3. 2～5.24　市内小中学校を新型コロナウイルス感染症拡大防止のために臨時休業 3.24　笠戸公民館完成 3.27　下松スポーツ公園体育館に空調設備設置 3.31　中村小学校屋内運動場完成 4. 1　米川小学校休校 4. 1　米川-花岡小学校間でスクールバス運行開始 6.21　「末武未来塾」を「くだまつ未来塾」に改称 10.30　電子図書館運用開始 12. 1　古地図リーフレット「下松で古地図さんぽ」発行 12　下松小学校通級指導教室棟完成
2021年 (令和3)	5.13　「東京２０２０オリンピック聖火リレー」新型コロナウイルス感染症拡大防止のため下松市の走行中止 6～7　「東京２０２０オリンピック」ベトナム女子バドミントン選手の事前キャンプ受入れ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 10. 8～10　BADMINTON BANK LEAGUE in 山口 2021 開催	3　下松市社会教育施設等長寿命化計画策定 4　下松小学校普通教室棟完成 4.30　市指定記念物「東光寺泉所寺のヤマザクラ」の指定を解除 8.15　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期した令和３年成人式を中止 12. 4　「星のふるまち童謡フェスタ 2021 FINAL」を開催
2022年 (令和4)	3.26　下松市タウンセンターの愛称が「キラル」に決定 11.1　都市計画道路大海線開通	5.4　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期されていた令和４年度成人式を開催 7.14　天王森古墳周辺においての形象埴輪群の出土および大刀形埴輪の復元を発表
2023年 (令和5)	7.24　下松児童の家３・４の開所	1.8　成人年齢の引き下げにより成人式を二十歳のつどいへと名称を変更し開催 3.24　花岡公民館講堂完成

２　教育関係団体一覧

令和５年７月１日現在

団　体　名	目　　的	会（団）長 副会(団)長	事　務　局	単位会 団　数	結　成 年月日
下松市小中学校 ＰＴＡ連合会	各小中学校ＰＴＡの連絡協調、教育振興並びに児童生徒の幸福の増進	会　長　桑野　優 副会長　逸見　勇介	公集小学校内 (41-0336)	10 単位会	Ｈ 8. 5.21
下松市子ども会育成連絡協議会	市内子ども会相互の連絡協調、及びその組織化と活動の活発化による青少年の健全育成	会　長　橋本　貴代 副会長　今井　利昭	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)	63 単位会	S37. 2.23
下松市連合婦人会	市内婦人会相互の連絡協調、婦人の教養並びに社会的地位の向上、地域社会の発展に貢献	会　長　古田　尊子 副会長　磯永　千代子 菊本　凉子	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1871)	4 単位会	S24. 9.13
下松市文化協会	組織的文化活動の推進と市民文化の向上	会　長　福永　城医 副会長　中村　松泉 三奈木　歌祥 藤井　惠誠	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)	48 団体	S26.11. 3

団　体　名	目　　的	会（団）長 副会(団)長	事　務　局	単位会 団　数	結　成 年月日
下松市民憲章 推進協議会	市民憲章が真に市民生活の中に融和するよう実践方法を策定し、これを推進	会　長　　永田　憲男 副会長　　磯永　千代子 山 本　　泉	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)	99 団体	S44. 9.29
下松地方史研究会	下松地方史研究とその発展	会　長　　弘中　義雄	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)		S29. 6. 5
下松市スポーツ協会	市内スポーツ団体相互の連絡協調、スポーツの普及振興、競技力の向上	会　長　　弘中　佑兒 副会長　　江村　勝利	下松市地域交流課 (45-1820)	25 団体	S17. 4. 1
下松市婦人スポーツ 同好会	婦人スポーツの普及振興	会　長　　山崎　まゆみ 副会長　　山下　恭子	山崎　まゆみ方		S40. 9. 1
下松市スポーツ 少年団本部	市内スポーツ少年団の連絡協調及び指導育成	本部長　　田村　育人 副本部長　　廣実　久司 浅原　俊朗 平田　恵三 副本部長兼指導者協議会会長　道下　義行	下松市地域交流課 (45-1820)	21 単位団	S41. 4. 1

団　体　名	目　　的	会（団）長 副会(団)長	事　務　局	単位会 団　数	結　成 年月日
日本ボーイスカウト山口県連盟下松第１団	野外活動、奉仕活動による団体生活規律を通じての青少年の健全育成	団委員長　新谷　満雄	新谷　満雄 方		S26. 4. 1
日本ボーイスカウト山口県連盟下松第５団	野外活動、奉仕活動による団体生活規律を通じての青少年の健全育成	団委員長　山野　俊江	副団委員長 弘中　勝利 方		H 4.10.27
ガールスカウト山口県第10団	野外活動、奉仕活動による団体生活規律を通じての健全育成	団委員長 岩本　綾子	岩本　綾子 方		S24.10
下松ユネスコ協会	地域社会の向上と世界平和に寄与し国際理解と国際協力の推進	会　長　弘中　孝典 副会長　藤井　成紀	弘中　孝典 方		S46. 5.31
下松市青少年育成協議会	心身ともに健全な青少年を育成するため、適切な実践方法を策定、推進	会　長　猪本　英雄 副会長　藤江　旬仁 三池　孝道 小林　拓宏	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)		S52. 3.14

団　体　名	目　　的	会（団）長 副会(団)長	事　務　局	単位会 団　数	結　成 年月日
心豊かな子どもを育てる推進事業協議会	いじめ、暴力行為、不登校、少年非行など児童生徒の問題行動等の予防や解決と児童生徒の健全育成に向け、地域のネットワークを踏まえた実践的な取組の推進	会　長　林　哲人 副会長　伊東　克典	下松市教育委員会 学校教育課 (45-1869)		H20. 4. 1
下松市教職員研修会	教職員の職能向上、全市的学校教育の振興	(小)会　長　世木　尚 (小)副会長　堀川　勝祥 (中)会　長　伊東　克典 (中)副会長　立場　孝子	公集小学校内 (41-0336) 下松中学校内 (41-0761)		S25. 4
下松市校外生徒指導連盟	児童生徒の校外生活指導及び街頭補導	会　長　江藤　弘康 副会長　清木　伸幸 伊東　克典	豊井小学校内 (41-0531)		S31. 5
切山歌舞伎保存会	切山歌舞伎の保存と伝承	会　長　水本　哲夫	水本　哲夫 方		S49.9.27

団　体　名	目　　的	会（団）長 副会(団)長	事　務　局	単位会 団　数	結　成 年月日
切山歌舞伎後援会	切山歌舞伎保存活動の後援	会　長　　藤井　荘太郎	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)		S50. 6.30
下松吹奏楽協会	吹奏楽を“郷土くだまつ”のシンボルとしての発展へ貢献	会　長　　中馬　好行 副会長　　伊東　克典 中村　隆征 安野　政行	下松市教育委員会 生涯学習振興課 (45-1870)		H 6. 6. 16

３　放課後児童クラブ（児童の家）

令和５年４月１日現在

施　設　名 所　在　地	対象校	児童数							職員数	電話番号
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	計		
下松児童の家１・２ 下松市大字西豊井 698 番地	下松小	26	32	25	17	8	8	116	6	41-6566
下松児童の家３・４ 下松市大手町１丁目２番６号	下松小	28	19	20	10	20	11	108	5	41-0405
久保児童の家１・２ 下松市大字河内 944 番地 24	久保小	15	19	15	11	6	8	74	6	46-3780
ほがらか児童の家 下松市大字山田 256 番地	久保小	5	3	6	4	5	1	24	4	47-1717
公集児童の家１・２ 下松市潮音町１丁目２番 22 号	公集小	63	63	40	1	0	0	167	5	43-4239
花岡児童の家１ 下松市大字末武上 264 番地５	花岡小	27	20	15	7	3	4	76	4	44-1042
花岡児童の家２・３・４・５ 下松市大字生野屋 412 番地１	花岡小	50	44	49	32	19	9	203	11	44-0500
豊井児童の家 下松市大字東豊井 1134 番地	豊井小	9	7	10	4	3	4	37	2	41-2671
中村児童の家１・２ 下松市清瀬町２丁目４番 11 号	中村小	18	34	22	14	0	0	88	5	41-7343
東陽児童の家 下松市東陽４丁目 17 番１号	東陽小	17	13	6	7	7	4	54	5	46-2004

４　私立幼稚園

令和５年５月１日現在

幼　稚　園　名 所　在　地	園　長　名	園　児　数				クラス数	教　職　員　数			電話番号
		３歳	４歳	５歳	計		副園長	教員	職員	
下松暁の星幼稚園 下松市旗岡１丁目５番１号	岡村　博子	9	19	19	47	2	－	5	－	41-4019
四恩幼稚園 下松市大字末武上 1235 番地	見山　任昭	51	48	42	141	6	－	10	2	43-7245
第２四恩幼稚園 下松市生野屋西２丁目 21 番 19 号	見山　任昭	10	13	7	30	3	1	4	2	43-7036
江口幼稚園 下松市大字東豊井 1059 番地 17	福田　徳子	15	22	18	55	4	－	8	1	41-2570
認定こども園　下松慈光幼稚園 下松市大字西豊井 773 番地１	内山　勝美	37	36	31	104	7	1	14	4	41-0330
認定こども園　末光幼稚園 下松市桜町１丁目２番 14 号	杉尾　久子	33	41	42	116	6	1	16	2	41-3866
下松幼稚園 下松市大手町１丁目５番 10 号	相本　寛子	26	22	26	74	3	－	6	8	44-1705
鋼鈑幼稚園 下松市美里町１丁目９番１号	森　徳治	29	35	41	105	3	－	7	－	43-0581

5　県立高等学校

令和５年５月１日現在

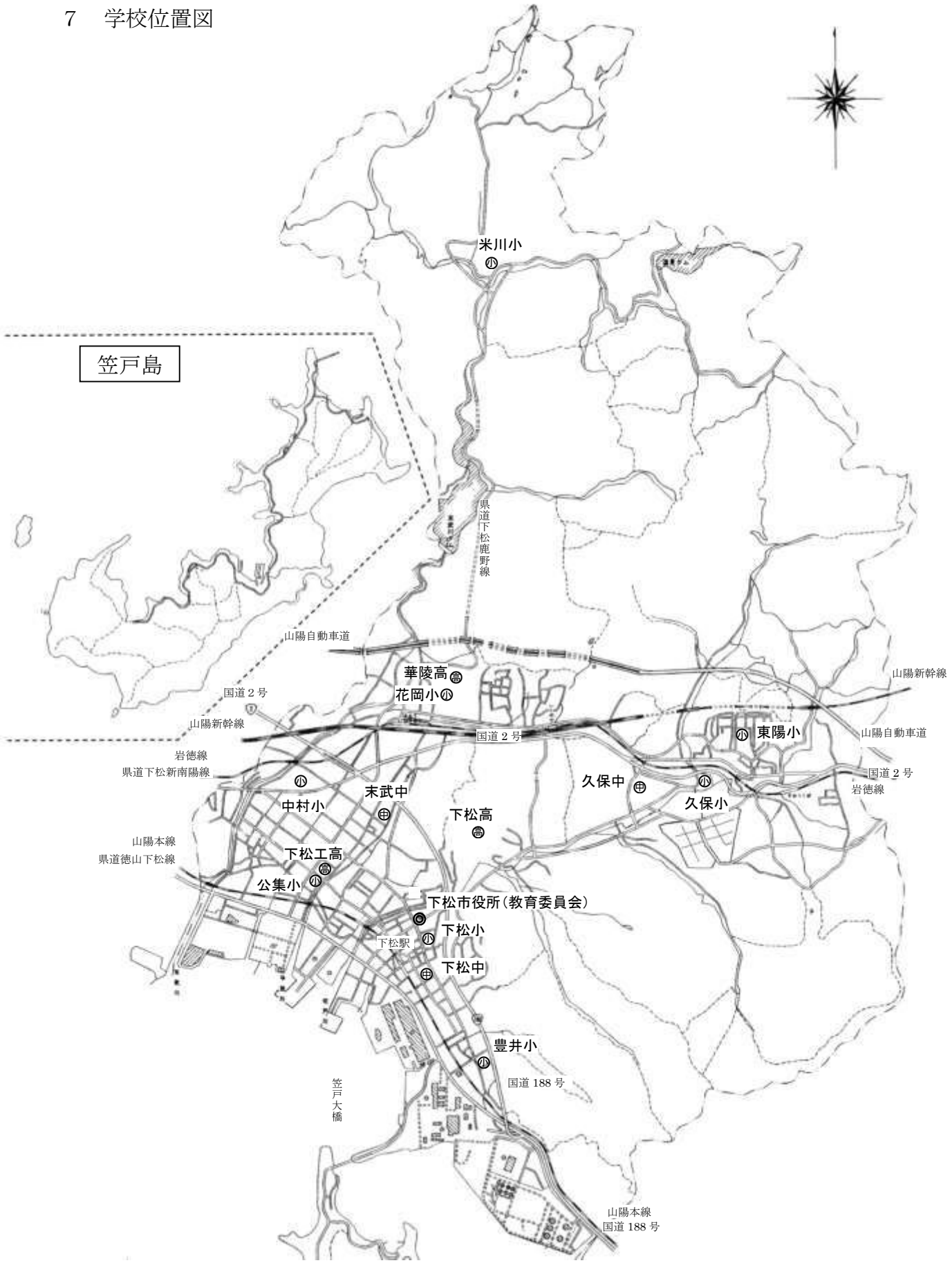
学　校　名	校長名	教頭名	学科名	生　徒　数						学級数	教員数	教職員数	電話番号
				性別	1年	2年	3年	4年	計				
下松高等学校 下松市若宮町 12 番 1 号	柴﨑　太志	玉野　智己	普通科	男	89	95	66		250	14	35	38	41-0157
				女	91	84	90		265				
			計		180	179	156		515				
下松工業高等学校 下松市美里町 4 丁目 13 番 1 号	大田　真一	松本　宣昭	システム機械科	男	25	37	32		94	3	47	66	41-1430
				女	2	2	1		5				
			電子機械科	男	30	37	37		104	3			
				女	0	2	1		3				
			情報電子科	男	37	34	33		104	3			
				女	2	6	5		13				
			化学工業科	男	34	34	33		101	3			
				女	1	6	7		14				
			計		131	158	149		438	12			
		（定時制） 大塚　寛史	機械科	男	4	9	4	5	22	4	9		
				女	0	0	0	0	1				
			計		4	9	4	5	22				
華陵高等学校 下松市大字末武上 217 番地 2	清木　伸幸	嬉　泰明	普通科	男	16	22	20		58	6	29	33	44-1285
				女	65	57	47		169				
			英語科	男	4	3	4		11	3			
				女	30	32	28		90				
			計		115	114	99		328	9			

６　施設所在地及び連絡先

令和５年８月１日現在

施　設　名	所　在　地	電話番号	FAX 番号
下松市教育委員会	下松市大手町 3 丁目 3 番 3 号	45-1866	45-1865
教育総務課	同　　上	45-1866	45-1865
学校教育課 学事係	同　　上	45-1868	45-1865
学校教育課 指導係	同　　上	45-1869	45-1865
学校教育課　ICT 教育推進室	同　　上	45-1846	45-1865
学校給食課 （小学校給食センター）	下松市葉山 2 丁目 904 番地 68	48-9409	48-9443
学校給食課 （中学校給食センター）	下松市潮音町 2 丁目 16 番 38 号	43-7705	43-7709
生涯学習振興課 社会教育係　文化財室	下松市大手町 3 丁目 3 番 3 号	45-1870	45-1865
図書館	下松市大手町 2 丁目 3 番 1 号	41-0093	41-0097
下松市セミナーハウス (希望の星ラウンジ)	下松市大字笠戸島 1534 番地 14	52-0136	兼
下松中央公民館	下松市大手町 2 丁目 3 番 1 号	41-0906	41-0907
久保公民館	下松市大字河内 583 番地 1	46-0700	46-3808
末武公民館	下松市潮音町 1 丁目 1 番 2 号	41-2965	45-0062
花岡公民館	下松市大字末武上 1280 番地 1	43-7513	45-0061
豊井公民館	下松市琴平町 2 丁目 8 番 7 号	43-9107	43-9221
笠戸公民館	下松市大字笠戸島 209 番地	52-0173	兼
深浦公民館	下松市大字笠戸島 1117 番地 1 及び 902 番地 2	52-0948	兼
笠戸島公民館	下松市大字笠戸島 698 番地	52-0015	52-0038
中村公民館 （中村総合福祉センター併設）	下松市瑞穂町 4 丁目 3 番 12 号	44-1717	41-5519
米川公民館	下松市大字下谷 167 番地 1	53-0001	53-0005
下松市郷土資料展示 収蔵施設「島の学び舎」	下松市大字笠戸島 10032 番地 38	52-0860	―
地域交流課 スポーツ観光交流係	下松市大手町 3 丁目 3 番 3 号	45-1820	45-1849

7　学校位置図


米川小
笠戸島
県道下松鹿野線
山陽自動車道
華陵高
花岡小
国道２号
山陽新幹線
国道２号
東陽小
山陽新幹線
山陽自動車道
岩徳線
県道下松新南陽線
末武中
中村小
久保中
久保小
国道２号
岩徳線
下松高
山陽本線
県道徳山下松線
下松工高
公集小
下松市役所（教育委員会）
下松小
下松駅
下松中
豊井小
国道 188 号
笠戸大橋
山陽本線
国道 188 号

８ 下松市教育大綱

１ 大綱策定の趣旨

下松市教育大綱は、本市における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な 施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。本市においては、平成２８年から令和２年度までを計画期間として、下松市総合計画「後期基 本計画」の教育文化分野を教育大綱としていました。このたび、令和３年度の市総合計画の改定にともない、令和２年度に市教育大綱の見直しを行いました。

２ 大綱の計画期間

下松市教育大綱の計画期間は、市総合計画前期基本計画との整合性を図るため、令和３年度から令和７年度までの５年間とします。ただし、教育に関する社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて、総合教育会議で協議し見直しを行います。

３ 基本目標

～ 多様な教育・学習の機会の充実による、生涯にわたり生き生きと学べるまちづくり ～

４ 基本方針

（1）学校教育の充実

ア　小・中学校教育環境の充実

小・中学校については、計画的な改修等により施設の長寿命化を図るとともに、学習環境の向上に努めます。また、Society5.0 時代を生きる子供たちの学びに即した教育機器・備品の整備や学校図書の充実、さらには食育活動の場としての学校給食の充実を図ります。

イ　小・中学校教育の推進

長年積み上げてきた「下松教育」の実績の上に立って、さらに、学力と個性、心と体の健全な育成に向けた学校教育活動を推進するとともに、家庭・地域との連携を一層強化し、安全安心に配慮しつつ、質の高い学校運営体制の整備に努めます。

（２）社会教育の充実

ア　青少年の健全育成

健全な青少年の育成を地域ぐるみで行うため、学校・家庭・地域の連携を強化した各種の取組や団体活動の支援、図書館活動や情報提供、相談活動等を通して、学びの場の創出や居場所づくり等、健全育成への実践を続けていきます。

イ　生涯学習環境の充実

市民の生涯学習意欲やニーズに応える場や機会を充実させるため、公民館施設の維持管理・更新や市民参加も含めた運営改善、図書館におけるソフト面も含めた内容及び利用利便の充実を図ります。

ウ　生涯学習の推進

いつでも、どこでも、誰もがそれぞれの興味や関心に応じて主体的に学ぶことができるよう、学習機会の充実に努めるとともに、情報提供や指導人材の発掘・育成・活用などの支援により、市民一人一人が生涯学習を通じて生きがいを持てる社会の実現を目指します。

（３）文化振興と文化財保護

ア　文化活動の振興

市民文化の向上に向けた各種の文化活動は、行政主導から文化団体の主導、協働での推進へと発展させ、「スターピアくだまつ」を中心拠点として、文化行事の充実、芸術文化に触れる場の充実等に取り組みます。特に、下松市の特徴である吹奏楽のまちづくりを積極的に進めます。

イ　歴史・伝統の保護と活用

文化財等を適切に保護していくとともに、「ふるさと下松」の歴史・文化を伝える各種資料を収集し、その活用方策を多様に検討し、市民の関心を高め、誇りの醸成にもつなげます。

（４）人権教育の推進

ア　人権の尊重

人権の尊重は社会における不変のテーマであり、正しい情報提供や相談等の環境づくりに努め、学校教育、社会教育等の場での人権意識を高める教育・学習活動を推進します。

下松市民歌

作詞　高橋重見　／　補作詞　坂口　淳　／　作曲　大村能章　／　編曲　小沢直与志

1　鷲頭(わしず)ヶ嶽(だけ)の　影ゆれて　　ほのぼの明ける　笠戸湾
　　港の汽笛　汽車のベル　　夜も日も高く　鳴りひびく
　　下松　下松　天恵の　　栄えに満ちし　わが郷土

2　協調　進取　人の和に　　市政は常に　ゆるぎなく
　　産業栄え　りょうらんと　　文化の花は　咲き薫る
　　下松　下松　共栄の　　矜持(ほこり)に満ちし　わが郷土

3　七つの星に　語り継ぐ　　金輪の松の　みどりこそ
　　平和の空へ　さわやかに　　我らがかざす　旗の色
　　下松　下松　躍進の　　希望に満ちし　わが郷土

市民憲章マーチ

作詞　下松市民憲章推進協議会　／　作曲　山門芳馨

1　花咲き薫り　緑に映える　　澄んだ郷土は　われらの誇り
　　幸せいっぱい　下松市民　　美しいまちを　つくりましょう
　　美しいまちを　ソレつくりましょう

2　スポーツに親しみ　たがいに結ぶ　　強いこころと　からだをつくり
　　元気あふれる　下松市民　　健やかなまちを　つくりましょう
　　健やかなまちを　ソレつくりましょう

3　若い力を　泉のように　　清く育てて　未来をきずく
　　共に励ます　下松市民　　伸びゆくまちを　つくりましょう
　　伸びゆくまちを　ソレつくりましょう

4　秩序(きまり)を守り　住みよい社会　　和を尊びて　くらしもゆたか
　　信頼しあう　下松市民　　明るいまちを　つくりましょう
　　明るいまちを　ソレつくりましょう

5　産業をおこし　高める文化　　われらの使命だ　こころに秘めて
　　希望に燃える　下松市民　　豊かなまちを　つくりましょう
　　豊かなまちを　ソレつくりましょう